FTC-200 ファイルトランスコーダー
取扱説明書

ビデオトロン株式会社

101726R05

本書に記載している商標

Microsoft®、Windows®、および Windows 7®、Windows 8.1®は、Microsoft Corporation の米国および他の国における登録商標です。

Adobe®、Adobe Flash®、Adobe Photoshop®は、Adobe Systems Incorporated の米国および他の国における商標または登録商標です。

その他本書中に記載されている会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。

変更について

この文書の情報は単なる情報として提供されるものであり、予告なく変更される可能性があります。

この製品を安全にご使用いただくために

- 本製品を安全に正しくご使用いただくために、ご使用前に本取扱説明書（以下、本書とします）を必ずお読みください。
- 本書はお読みになった後で、いつでも見られる所に保管してください。

警告

誤った取扱いをすると死亡または重傷、火災など重大な結果を招く恐れがあります。

1、電源プラグ、コードは

- 指定された電源電圧（AC100V 50/60Hz）以外では使用しないでください。
- AC 電源（室内電源）の容量を超えて機械を接続し長時間使用すると火災の原因になります。
- 差込みは確実に。ほこりの付着やゆるみは危険です。
- 濡れた手でプラグの抜き差しを行わないでください。
- 抜き差しは必ずプラグを持って行ってください。コードを持って引っ張らないでください。
- コードは他の機器の電源ケーブルや他のケーブル等にからませないでください。
- コードの上に重い物を載せないでください。電源がショートし火災の原因になります。
- 機械の取り外しや清掃時等は必ず機械の電源スイッチを OFF にしてからプラグを抜いてください。

2、本体が熱くなったら、焦げ臭いにおいがしたら

- すぐに電源スイッチを切ってください。ただし、電源回路上、切れない場合があります。その時は電源プラグを正しく抜いてください。機械の保護回路により電源が切れた場合、あるいはブザーによる警報音がした場合にはすぐに電源スイッチを切るか、電源プラグを抜いてください。
- 上下に設置されている機械の電源スイッチまたはメインのブレーカーを切ってください。
- 空調設備を確認してください。
- しばらく、手や体を触れないでください。ファンの停止が考えられます。設置前にファンの取り付け場所を確認しておきファンが停止していないか確認をしてください。５年に一度はファンの交換をおすすめします。
- 機械の通風孔をふさぐような設置をしないでください。熱がこもり火災の原因になります。
- 消火器は必ず１本マシンルームに設置し緊急の場合に取り扱えるようにしてください。
- 弊社にすぐ連絡ください。

3、機械の近くでは飲食やタバコ、火気を取り扱うことは絶対に行わないでください。

- 特にタバコ、火気を取り扱うと電気部品に引火し火災の原因になります。
- 機械の近く、またはマシンルーム等の密閉された室内で可燃性ガスを使用すると引火し火災の原因になります。
- コーヒーやアルコール類が電気部品にかかりますと危険です。

4、修理等は、ご自分で勝手に行わないでください。

下記のあやまちにより部品が発火し火災の原因になります。

- 部品の取り付け方法（極性の逆等）を誤ると危険です。
- 電源が入っている時に行うと危険です。
- 規格の異なる部品の交換は危険です。

5、その他

- 長期に渡ってご使用にならない時は電源スイッチを切り、安全のため電源プラグを抜いてください。
- 重量のある機械は１人で持たないでください。最低２人でかかえてください。腰を痛めるなど、けがの元になります。
- ファンが回っている時は手でさわらないでください。必ず停止していることを確かめてから行ってください。
- 車載して使用する時は確実に固定してください。転倒し、けがの原因になります。
- 本体のラックマウントおよびラックの固定はしっかり建物に固定してください。地震などによる災害時危険です。
- また、地震の時は避難の状況によりブレーカーを切るか、火災に結び付かない適切な処置および行動を取ってください。そのためには日頃、防災対策の訓練を行っておいてください。
- 機械内部に金属や導電性の異物を入れないでください。回路が短絡して火災の原因になります。
- 周辺の機材に異常が発生した場合にも本機の電源スイッチを切るか電源プラグを抜いてください。

注意

誤った取扱いをすると機械や財産の損害など重大な結果を招く恐れがあります。

1、操作卓の上では飲食やタバコは御遠慮ください。

コーヒーなどを操作器内にこぼしスイッチや部品の接触不良になります。

2、機械の持ち運びに注意してください。

落下等による衝撃は機械の故障の原因になります。

また、足元に落としたりしますと骨折等けがの原因になります。

3、フロッピーディスクやMOディスクを取り扱う製品については

- 規格に合わないディスクの使用はドライブの故障の原因になります。
  マニュアルに記載されている規格の製品をご使用ください。
- 長期に渡り性能を維持するために月に一回程度クリーニングキットでドライブおよびMOディスクをクリーニングしてください。
- フィルターの付いている製品はフィルターの清掃を行ってください。
  通風孔がふさがり機械の誤動作および温度上昇による火災の原因になります。
- 強い磁場にかかる場所に置いたり近づけたりしないでください。内部データに影響を及ぼす場合があります。

- 湿気やほこりの多い場所での使用は避けてください。故障の原因になります。
- 大切なデータはバックアップを取ることをおすすめします。

定期的なお手入れをおすすめします。

- ほこりや異物等の混入により接触不良や部品の故障が発生します。
- お手入れの際は必ず電源を切ってプラグを抜いてから行ってください。
- 正面パネルから、または通風孔からのほこり、本体、操作器内部の異物等の清掃。
- ファンのほこりの清掃
- カードエッジコネクタータイプの基板はコネクターの清掃を一ヶ月に一度は行ってください。

また、電解コンデンサー、バッテリー他、長期使用劣化部品等は事故の原因につながります。
安心してご使用していただくために定期的な(５年に一度)オーバーホール点検をおすすめします。
期間、費用等につきましては弊社までお問い合わせください。

**上記現象以外でも故障かなと思われた場合は弊社にご連絡ください。

☆連絡先・・・・・・ビデオトロン株式会社
〒193-0835 東京都八王子市千人町２－１７－１６

TEL	042－666－6329
FAX	042－666－6330
受付時間	8:30～17:00
E-Mail	cs@videotron.co.jp

◎土曜・日曜・祝祭日の連絡先

留守番電話	042－666－6311
緊急時 **	090－3230－3507
受付時間	9:00～17:00

**携帯電話の為、通話に障害を起こす場合がありますので、あらかじめご了承願います。

目次

1. 概要

この製品は、汎用静止画およびビデオトロン独自形式画像ファイルの変換と閲覧、およびファイル転送を行うための
ソフトウェアです。製品は「画像変換ソフト」と「画像ビューアソフト」の 2 つのソフトウェアで構成されています。

画像変換ソフトは、ビデオトロン独自形式を含む様々なフォーマットの画像ファイルを、相互に変換することができます。
フォーマット変換のほかに、画像サイズの変換や FILL/KEY 結合・分離などの機能を備えています。

画像ビューアソフトは、様々なフォーマットの画像ファイルを、サムネイル形式で閲覧することができます。
Windows エクスプローラ風の表示で、フォルダーツリー・画像情報・サムネイルが表示されます。
また、対象となるファイル装置(MF-90/MF-70/CF-90)に対してファイル転送を行うことができます。

2. 特長

2.1. 画像変換ソフト

- 様々なフォーマットの画像ファイルを相互変換
- ファイルのドラッグ＆ドロップで自動変換
- HD/SD サイズや、指定した任意の画像サイズに自動変換
- 画像サイズ変換時、レターボックス／カットなどの拡大縮小方法を指定可能
- レターボックス時の背景色を指定可能
- FILL/KEY 別ファイルとなっている画像を、1 枚のアルファチャンネル付き画像として結合
- 複数ファイルの同時変換時、FILL/KEY ファイルかどうかファイル名から自動識別
- アルファチャンネル付きの画像を FILL/KEY 別ファイルとして変換・保存
- アルファチャンネルのない画像にセルフキーを生成可能
- VJ2 形式の動画ファイルを変換作成可能
- 出力フォーマットごとに、変換オプションを設定可能（JPEG 画質、TIFF 圧縮方法など）

2.2. 画像ビューアソフト

- ビデオトロン独自形式を含む様々なフォーマットの画像ファイルをサムネイル形式で閲覧
- 表示するサムネイルのサイズを変更可能
- サムネイルと同時にフォーマット・画像サイズの情報をコンパクトに表示
- 画像をダブルクリックすると画像のプレビューを表示
- プレビューでは、拡大縮小表示や、FILL のみ/KEY のみ表示/アルファブレンド表示などを切り替え可能
- プレビュー画像の印刷機能
- 各種ファイル装置(MF-90/MF-70/CF-90)に対してのファイル転送
- 各種ファイル装置のファイル管理を PC 内で仮想化

3. 必要システム構成

FTC-200の製品構成内容

番号	品　名	形名・規格	数量	備　考
1	アプリケーションCD	FTC-200 CD-ROM	1	・FTC-200インストーラー ・HASPドライバーインストーラー ・取扱説明書(PDF版)
2	プロテクトKEY	HASP HL MaxMicro	1	・USB接続方式

推奨動作環境

●OS … Windows® 7 Professional/Ultimate 32bit/64bit、Windows® 8.1 Pro 32bit/64bit
(Windows® 8.1 64bit、及びWindows® 7 64bitは32bitモードでの動作になります)
●CPU … Intel® CPU 1.5GHz以上
●メモリ … 2GB以上
●グラフィックス … WXGA(1280×768)以上の解像度、32bitのカラー表示が可能なディスプレイ
●ハードディスク、またはSSD … 500MB以上の空き領域
●光学ドライブ …. CD-ROM(インストール時に必要)
●LANポート … 100BASE以上
●USBポート … ドングル用として1ポート必要
●Microsoft Internet Explorer 6.0(SP2)以降

4. インストール

4.1. プロテクト KEY (HASP)の設置

FTC-200 のアプリケーションを起動するにはプロテクト KEY が必要です。
付属されているプロテクト KEY を使用するパソコンの USB ポートに接続してください。
「4.3. プロテクト KEY(HASP)のドライバーインストール」を参照しながらドライバーをインストールします。

※注意！ プロテクト KEY の LED ランプが「点灯」していることを確認してください。プロテクト KEY が不完全な接続状態だと FTC-200 のアプリケーションは起動しません。

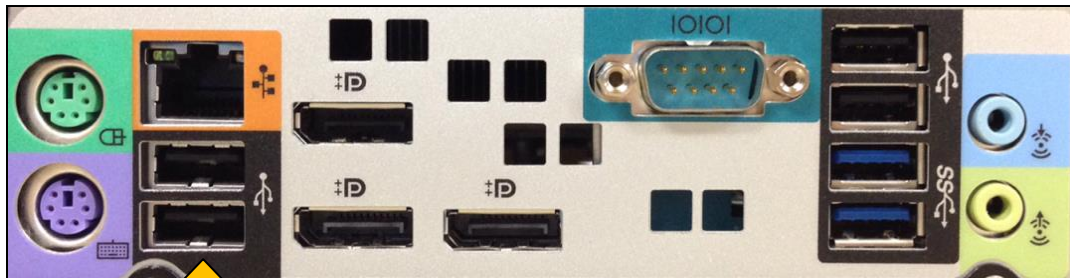



図 4-1-1 パソコンインターフェース(USB ポート)

図 4-1-2 プロテクト KEY

4.2. アプリケーション CD

アプリケーション CD 内には、以下のフォルダーがあります。

App　　　　FTC-200 画像変換ソフト・画像ビューアソフトのインストーラーが格納されています。
Driver　　　プロテクト KEY(HASP)用のドライバーが格納されています。
　　　　　　すでに同バージョンのドライバーがインストール済みの場合は再インストールする必要はありません。
Document　FTC-200 画像変換ソフト・画像ビューアソフトの取扱説明書、リリースノート等が格納されています。

4.3.　プロテクト KEY（HASP）のドライバーインストール

プロテクト KEY（HASP）のインストールは、以下の手順で行います。

1. ダウンロードした、またはインストール CD 内の「Driver」–「HASP」フォルダーを開きます。
2. フォルダー内の「HASPUserSetup.exe」をダブルクリックします。

HASPUserSetup.exe

3. PC 画面上に次のウィンドウが順番に表示されます。
   各項目を確認しながら[次へ]をクリックしてインストールを進めてください。
4. インストールが正常に行われると、プロテクト KEY の LED が赤く点灯します。

1)

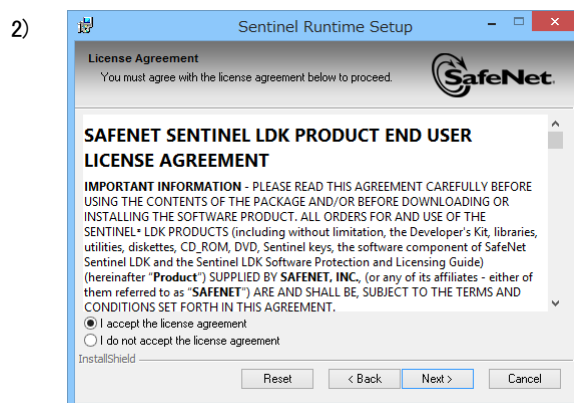
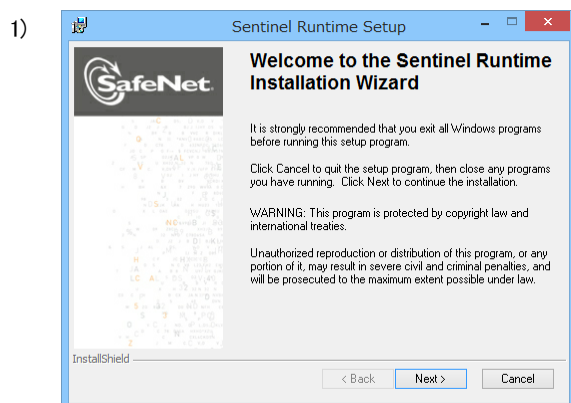
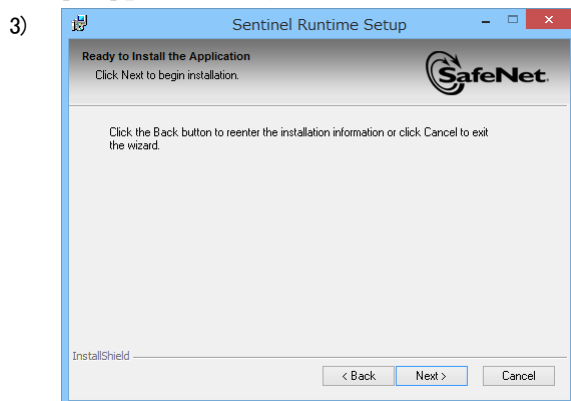
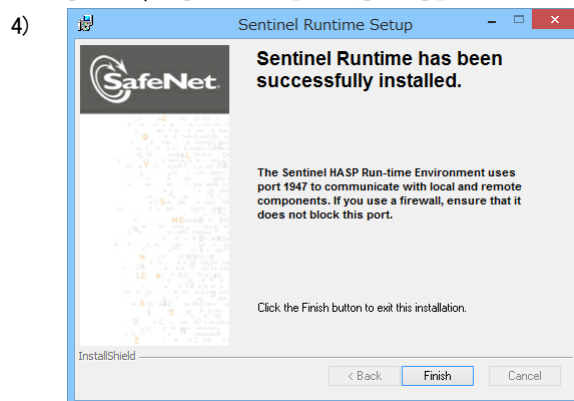
[Next]をクリックします。

2)

[I　accept･･･]にチェックをいれ、[NEXT]をクリックします。

3)

[Next]をクリックします。

4)

[Finish]をクリックします。

4.4. FTC-200 アプリケーションインストール

FTC-200 画像変換ソフト・画像ビューアソフトのインストールは、以下の手順で行います。

1. Windows 起動後、Administrator 権限のあるユーザーでログオンします。
2. ダウンロードした、またはインストール CD 内の「App」フォルダーを開きます。
3. フォルダー内の「FTC200_Setup.msi」をダブルクリックします。
4. PC 画面上に次のウィンドウが順番に表示されます。
   各項目を確認しながら[次へ]をクリックしてインストールを進めてください。

1)

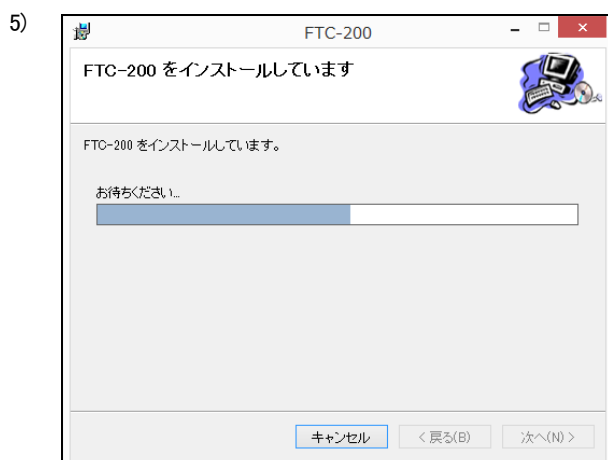
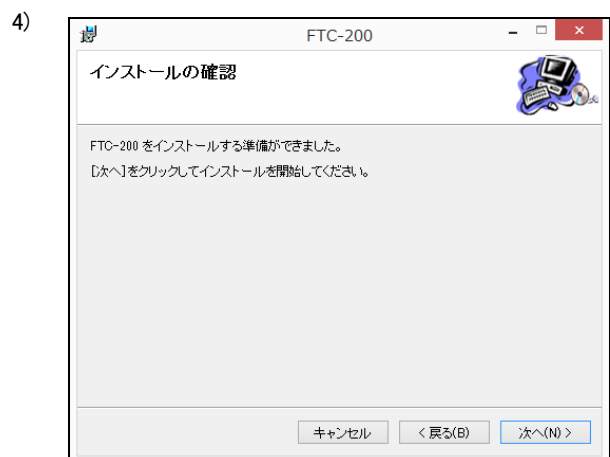
2)

3)

FTC-200
インストール フォルダの選択
インストーラは次のフォルダへ FTC-200 をインストールします。
このフォルダにインストールするには[次へ]をクリックしてください。別のフォルダにインストールするには、アドレスを入力するか[参照]をクリックしてください。
フォルダ(E):
C:¥Program Files (x86)¥Videotron¥FTC-200¥
参照(R)...
ディスク領域(D)...
FTC-200 を現在のユーザー用か、またはすべてのユーザー用にインストールします:
すべてのユーザー(E)
このユーザーのみ(M)
キャンセル
< 戻る(B)
次へ(N) >

4)

5)

6)

5. ソフトウェアの起動

※ 本ソフトウェアを使用するにはプロテクト KEY が必要です。
ソフトウェアを起動する前に、USB ポートに付属のプロテクト KEY を接続してください。
※ プロテクト KEY の LED が点灯していることを確認してください。
正しく接続されていない、ドライバが正しくインストールされていないなどの時は、本ソフトウェアは使用できません。

5.1. 画像変換ソフトウェア

デスクトップ、またはスタートメニューの[スタート]－[すべてのプログラム]－[Videotron]－[FTC-200]内にある「VImgConv」アイコンをダブルクリックしてください。

VImgConv アイコン

5.2. 画像ビューアソフトウェア

デスクトップ、またはスタートメニューの[スタート]－[すべてのプログラム]－[Videotron]－[FTC-200]内にある「VImgShow」アイコンをダブルクリックしてください。

VImgShow アイコン

6. 画像変換ソフト

6.1. 機能について

6.1.1. ファイルの変換

ファイルを変換するには、次の手順で操作を行います。

1. [入力]のファイル指定で、変換元のファイルを選択します。必要であれば KEY ファイルを別指定します。
2. [出力]のフォルダー選択で、出力するフォルダーを指定します。
3. [出力フォーマット]で、変換先のフォーマットを指定します。必要に応じて、出力フォーマットの詳細設定を行います。
4. 出力画像サイズとリサイズ方法を選択します。
5. [変換]ボタンを押すと、指定された画像が変換されます。

6.1.2. フォルダーの変換

フォルダー単位で画像を変換するには、次の手順で操作を行います。

1. [入力]のフォルダー指定で、変換元のファイルが入っているフォルダーを選択します。
2. [出力]のフォルダー選択で、出力するフォルダーを指定します。
3. [出力フォーマット]で、変換先のフォーマットを指定します。必要に応じて、出力フォーマットの詳細設定を行います。
4. 出力画像サイズとリサイズ方法を選択します。
5. [変換]ボタンを押すと、指定されたフォルダー内の全画像が変換されます。
   変換中は進行状況を示すステータスウィンドウが表示されます。

※ フォルダー単位変換では、FILL／KEY ファイルの自動識別機能が働きます。
詳細は「6.1.4. FILL/KEY ファイルの自動識別」を参照してください。

6.1.3. 自動変換モード

自動変換モードでは、あらかじめ設定した出力ファイルのフォーマット・画像サイズに従って、メインウィンドウにドラッグ＆ドロップされたフォルダー／ファイルを、その都度自動的に変換します。
自動変換モードの動作は、ドロップされたフォルダー／ファイルによって切り替わります。

- 1 つのファイル　ファイル指定されたものとみなして、ドロップされたファイルを変換します。
- 2 つ以上のファイル　ドロップされた全ファイルを変換します。（FILL／KEY の自動変換機能が働きます。
- 1 つのフォルダー　フォルダー指定されたものとみなして、フォルダー内の全画像ファイルを変換します。
- 2 つ以上のフォルダー　変換できません。フォルダーを 1 つずつドラッグ＆ドロップしてください。

※ 出力ファイルフォーマットに vPNG を選択して複数ファイルの自動変換を行うと、ロールの vPNG ファイルが 1 つ作成されます。

6.1.4. FILL/KEY ファイルの自動識別

フォルダー単位での画像変換時、複数ファイルをドラッグ＆ドロップした時の自動変換モードでは、入力ファイルが FILL／KEY ファイルかどうか自動識別して、必要に応じて 2 つのファイルを結合して変換します。
以下の条件を満たす時に、FILL／KEY ファイルとして認識します。（大文字・小文字の区別はありません）

- ファイル名の末尾が「_f」または「_fill」または「_fil」となっているファイルが存在する
- ファイル名の末尾が「_k」または「_key」となっているファイルが存在する
- ファイル名の「_」より前の部分が同一

6.1.5. ピクセル比の補正

入力または出力の画像サイズが以下の時、ピクセルアスペクト比の自動補正を行うことができます。

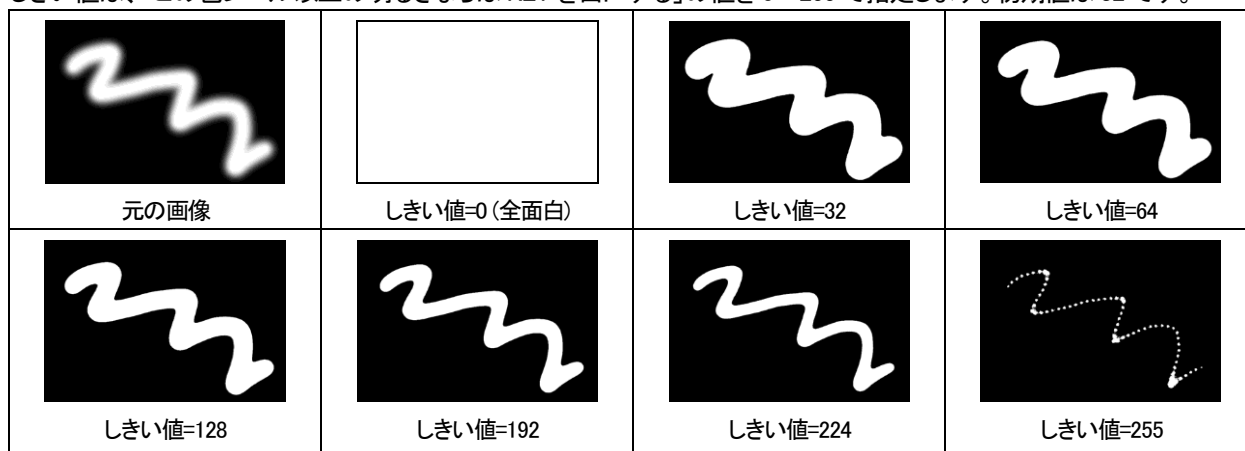
画像サイズ	システム	ピクセルアスペクト比
1440×1080、1280×720	HD 画角(16:9)	4:3 (1.3333…)
720×486、720×480、704×480、352×240	NTSC スタンダード(4:3)	10:11 (0.9090…)
720×576、704×576、352×288	PAL スタンダード(4:3)	12:11 (1.0909…)

これ以外の画像サイズの場合は、ピクセルアスペクト比が 1:1(正方ピクセル)として変換を行います。

6.1.6. セルフキーの自動生成

入力ファイルが FILL のみでアルファチャンネルを含まない場合、セルフキーを自動生成することができます。
この時、画像として認識する色レベルを「しきい値」として、KEY の縁の厚みを「エッジ」として指定できます。

しきい値は、「この色レベル以上の明るさならば KEY を白にする」の値を 0～255 で指定します。初期値は 32 です。

元の画像 / しきい値=0 (全面白) / しきい値=32 / しきい値=64
しきい値=128 / しきい値=192 / しきい値=224 / しきい値=255

(エッジは全て 0)

エッジは、しきい値をかけて抽出した KEY の輪郭に、0～4 の範囲で厚みを指定します。初期値は 0 です。

しきい値=32、エッジ=0 / しきい値=32、エッジ=4 / しきい値=255、エッジ=0 / しきい値=255、エッジ=4

6.2. 対応フォーマット

6.2.1. 入力フォーマット

入力可能なフォーマットは以下の通りです。

ファイル形式		備考	J2C に出力可能	VJ2 に出力可能
BMP	RGB/カラーマップ/GRAY、非圧縮/RLE 圧縮	JPEG･PNG 形式 BMP は非対応	●	●※1
JPG	RGB/YCbCr/GRAY、ベースライン/プログレッシブ	ロスレス JPEG は非対応	●	●※1
PCT	16･32 ビット Direct Bit、2～8 ビット Pixmap		●	●※1
PNG	RGB/カラーマップ/GRAY、アルファチャンネル対応　非圧縮/Deflate 圧縮		●	●※1
PSD	Adobe® Photoshop®　形式、8 ビット RGB		●	●※1
SWF	Adobe® Flash®　形式	音声データの抽出は非対応	●	
TGA	RGB/カラーマップ/GRAY、Image Origin ビット対応 非圧縮/RLE 圧縮		●	●※1
TIF	RGB/CMYK/YCbCr/GRAY、非圧縮/JPEG 圧縮/Deflate 圧縮	マルチページ TIFF には非対応	●	●※1
PNG	高速 VPNG、通常 VPNG、CF9940/45VPNG に対応	ビデオトロン独自形式	●	●※1
J2C		ビデオトロン独自形式	●	
VJ2	静止画･音声付静止画･動画	ビデオトロン独自形式	●	
STW ST5	静止画･ロール	ビデオトロン独自形式（送出イメージデータを含むファイルのみ対応）	●	●※2
WAV	データサイズ 16 ビット、サンプリング周波数 48KHz	音声データ		

※1 静止画、または動画(連番指定)として出力可能。

※2 静止画としてのみ出力可能。

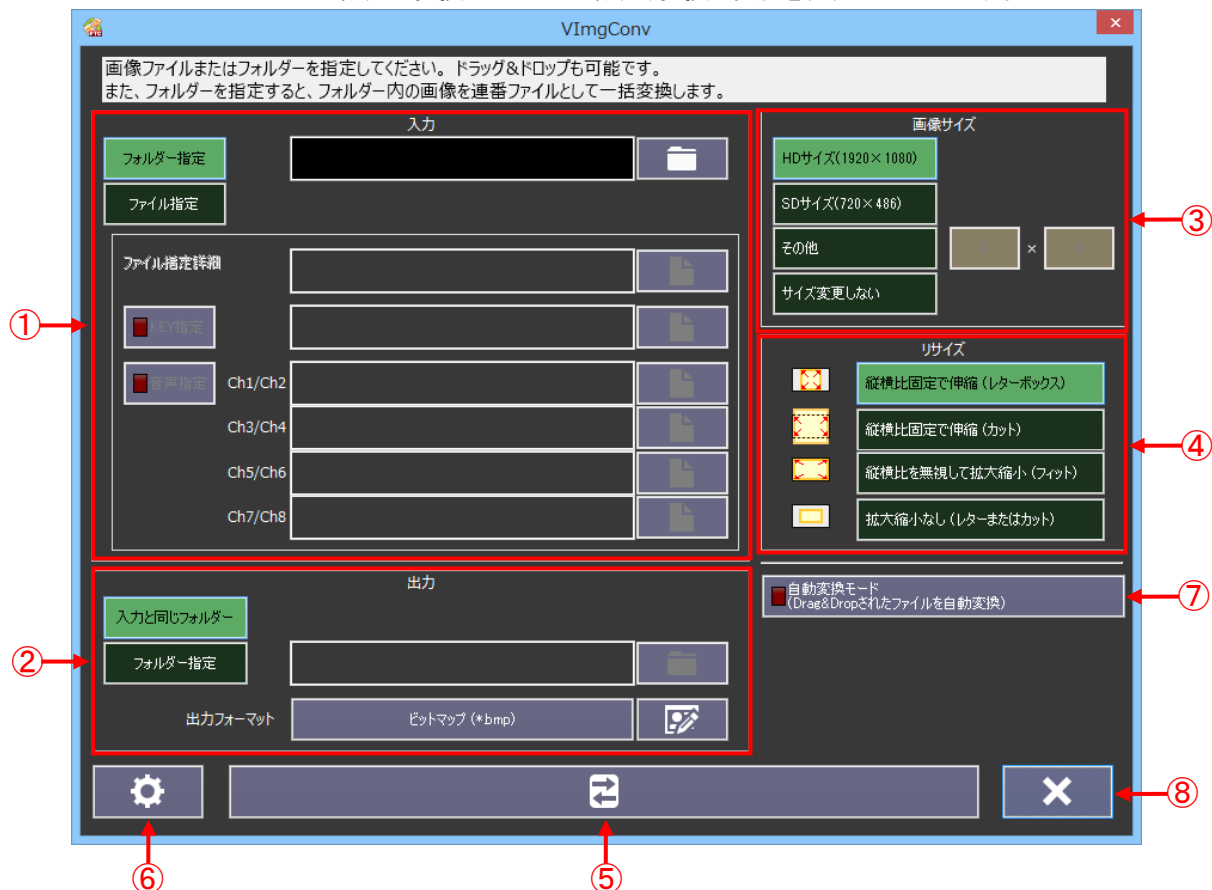
6.2.2. 出力フォーマット

出力可能なフォーマットは以下の通りです。

ファイル形式		備考
BMP	RGB、非圧縮/RLE 圧縮	JPEG･PNG 形式 BMP は非対応
JPG	RGB、ベースライン/プログレッシブ、画質設定(0:最低～100:最高)	ロスレス JPEG は非対応
PCT	32 ビット RGB	
PNG	RGB、アルファチャンネル対応、非圧縮/Deflate 圧縮	
TGA	RGB、非圧縮/RLE 圧縮	
TIF	RGB、非圧縮/JPEG 圧縮/Deflate 圧縮	マルチページ TIFF には非対応
PNG	高速 VPNG、通常 VPNG、CF9940/45VPNG に対応、静止画/ロール、機種固有情報の設定可能	ビデオトロン独自形式
J2C	FILL･KEY、YC 結合/分離、フィールド結合/分離	ビデオトロン独自形式
VJ2	静止画･音声付静止画･動画	ビデオトロン独自形式

6.3. 各部の名称と働きについて

6.3.1. メインウィンドウ

ソフトウェアを起動すると、メインウィンドウが表示されます。
この画面では入力／出力ファイルの設定や変換オプションの設定、変換の実行を行うことができます。

1. **入力**

入力(変換元)フォルダー／ファイルの指定を行います。

〇フォルダー指定

指定したフォルダー内の全画像ファイルを一括変換します。

ボタンをクリックすると、フォルダー選択ダイアログが表示されます。

〇ファイル指定

No.	種類	備考
1	イメージ指定	指定したファイルを変換します。 ボタンをクリックすると、ファイル選択ダイアログが表示されます。
2	KEY 指定	KEY の画像ファイルを別途指定する場合にチェックマークを付けます。ここで指定したファイルと「ファイル指定」で選択されたファイルが、1 枚の画像ファイルとして結合されます。 ボタンをクリックすると、ファイル選択ダイアログが表示されます。
3	音声指定	音声のファイルを別途指定する場合にチェックマークを付けます。ここで指定したファイルが、各チャンネルの音声ファイルとして結合されます。 ボタンをクリックすると、ファイル選択ダイアログが表示されます。

※　ファイル指定では連番イメージファイルの先頭を指定し VJ2 ファイルへの変換を行うことにより、VJ2 動画ファイルを作成することができます。

2.　出力

出力（変換先）フォルダーの指定と、フォーマットの選択を行います。

No.	種類	備考
1	入力ファイルと 同じフォルダー	入力ファイルと同じ場所に変換後のファイルを出力します。
2	フォルダー指定	指定したフォルダーに変換後のファイルを出力します。 ボタンをクリックすると、フォルダー選択ダイアログが表示されます。
3	出力フォーマット	出力する画像のフォーマットを選択します。 ボタンをクリックすると、フォーマットの詳細設定ダイアログが表示されます。 選択している出力フォーマットによって、詳細設定ダイアログの内容が変わります。

3.　画像サイズ

出力する画像のサイズを設定します。

No.	種類	備考
1	HD サイズ(1920x1080)	ハイビジョン画角の画像を出力します。
2	SD サイズ(720x486)	SD 画角の画像を出力します。
3	その他	出力する画像のサイズを幅×高さの数値で指定します。 **※出力フォーマットとして VJ2 を指定している場合、選択することはできません。**
4	サイズ変更しない	入力ファイルのサイズのまま出力します。 **※出力フォーマットとして VJ2 を指定している場合、選択することはできません。**

4.　リサイズ

画像サイズを変更する時の、拡大縮小方法を選択します。

No.	種類	備考
1	縦横比固定で伸縮(レターボックス)	入力画像の全体が入りきるように、縦横比固定で拡大縮小します。 画像がない部分を背景色で埋めます。（オプションで設定可能）
2	縦横比固定で伸縮(カット)	背景部分ができないように、縦横比固定で拡大縮小します。 画像の余り部分は切り捨てます。
3	縦横比を無視して拡大縮小(フィット)	出力画像サイズに合わせて、縦横比を無視して拡大縮小します。
4	拡大縮小なし(レターまたはカット)	拡大縮小せず、入力画像を出力画像の中央に配置します。 出力画像サイズより小さい時は、入力画像の周囲を背景色で埋めます。 出力画像サイズより大きい時は、入力画像の余り部分を切り捨てます。

HD から SD、SD から HD に変換した時、リサイズの設定によって次のように出力画像が変化します。

	元画像	レターボックス	カット	フィット	拡大縮小なし
HD-SDI					
SD-SDI					

5.　[変換]ボタン

入力フォルダー／ファイル、出力フォルダー、画像サイズなどの設定を行った後、このボタンをクリックすると、設定された内容に従って画像の変換を開始します。

6.　[オプション]ボタン

オプションダイアログを表示します。ここでは画像変換ソフト全体に関わる設定を行うことができます。

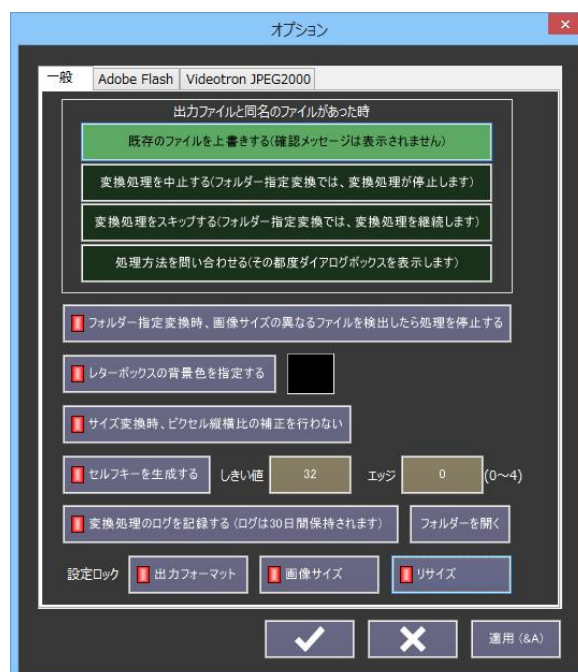
詳細は「6.3.2 オプションダイアログ」を参照してください。

7. **[自動変換モード]チェックボックス**
   フォルダー／ファイルをドラッグ＆ドロップするだけで自動的に変換を行う「自動変換モード」の ON/OFF を切り替えます。
   同じ設定で何回も画像を変換する時などに使用します。

8. **[終了]ボタン**
   本ソフトウェアを終了します。

6.3.2. オプションウィンドウ

メインウィンドウの[オプション]ボタンをクリックすると、オプションダイアログが表示されます。

「一般」タブ ――― 一般的なソフトウェア設定

1. 出力ファイルと同名のファイルがあった時

同名ファイルが存在する時の処理方法を設定します。

No.	種類	備考
1	既存のファイルを上書きする	確認メッセージを表示せず、既存ファイルを上書きします。
2	変換処理を中止する	変換処理を中止します。フォルダー変換など複数画像を連続して変換している時は、処理を中止します。
3	変換処理をスキップする	変換処理をスキップします。複数画像を連続変換している時は、次の画像の変換に進みます。
4	処理方法を問い合わせる	上書き／中止／スキップを指定するダイアログボックスを表示します。複数画像の連続変換中も、その都度ダイアログボックスが表示されます。

※ファイル指定による VJ2 ファイルへの変換では上記項目は反映されません。

2. フォルダー指定変換時、画像サイズの異なるファイルを検出したら処理を停止する

動画の連番ファイルなどを一括変換する時、画像サイズのエラーを検知するための機能です。

3. レターボックスの背景色を指定する

チェックを付けると、背景色を設定することができます。指定しない場合の背景色は黒となります。

4. サイズ変換時、ピクセル縦横比の補正を行わない

初期設定では、HD→SD などの画像サイズ変換時にピクセル縦横比(ピクセルアスペクト比)の補正を行います。
チェックを付けると、このようなサイズ変換時にピクセル縦横比の補正を行いません。
(変換前・変換後どちらも正方ピクセルの画像として扱います)

5. セルフキーを生成する

KEY のない(アルファチャンネルのない)画像を変換する場合に、セルフキーを生成します。
KEY で抜かない色レベルの最低値を「しきい値」で設定します。(0～255)
また KEY のエッジ(縁)の厚みを「エッジ」で設定します。(0～4)

6. 変換処理のログを記録する

画像変換ソフトの動作ログを、日ごとのテキストファイルに保存します。
ログファイルはソフトウェアの起動ディレクトリに保存され、30 日を経過したログから順次削除されます。
[フォルダーを開く]ボタンをクリックすると、ログが保存されているフォルダーをエクスプローラで開きます。

7. 設定ロック

メインウィンドウの出力フォーマット/画像サイズ/リサイズ設定をロック状態(ディアクティブ)にするための ON/OFF 設定を行います。
ON 状態ではその設定を行うことができます。
OFF 状態ではその設定を行うことができません。

「Adobe Flash」タブ ――― Adobe Flash ファイルを入力ファイルに指定した時の設定

1. 出力する画像のサイズ

Flash ファイルはオブジェクトアニメーションファイルなので、任意サイズに拡大縮小することが可能です。
このタブでは、入力 Flash ファイルの画像サイズをどのように扱うか設定します。

No.	種類	備考
1	出力画像サイズに合わせる	Flash の画像サイズ＝出力画像サイズ として変換します。 ウィンドウ下部のスケーリング・配置設定が有効となります。
2	ステージサイズに合わせる	Flash の画像サイズ＝Flash のステージサイズとして変換します。 Flash から抽出された画像は、メインウィンドウの画像サイズ・リサイズ設定に基づいて変換します。

2. 抽出するフレーム

Flash ファイルから抽出するフレームを指定します。

No.	種類	備考
1	全フレーム	Flash ファイルの全フレームを抽出します。
2	指定フレーム	指定した範囲内のフレームのみを抽出します。

3. スケーリング

Flash オブジェクトを出力画像サイズに合わせて拡大縮小する時の、拡大縮小方法を選択します。

No.	種類	備考
1	全て表示	Flash オブジェクト全体が入りきるように、縦横比固定で拡大縮小します。 画像がない部分は Flash に設定されている背景色で埋められます。
2	枠なし	背景部分ができないように、縦横比固定で拡大縮小します。 Flash オブジェクトの余り部分は切り捨てます。
3	フィット	出力画像サイズに合わせて、縦横比を無視して拡大縮小します。
4	拡大縮小なし	拡大縮小せず、出力画像サイズのステージ上に Flash オブジェクトを配置します。

4.　配置

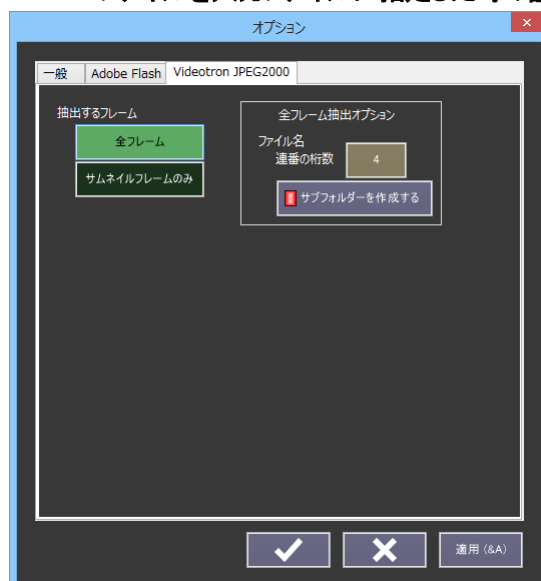
Flash オブジェクトを出力画像サイズに合わせて拡大縮小した時の、Flash オブジェクトの配置方法を選択します。

配置	抽出画像	配置	抽出画像	配置	抽出画像

5.　ファイル名

出力するファイルに付ける連番の桁数と、サブフォルダー作成の有無を設定します。
出力ファイルは「元のファイル名_連番」というファイル名になります。

No.	種類	備考
1	連番の桁数	連番の桁数を指定します。
2	サブフォルダーを作成する	出力フォルダーの下に Flash ファイル名のフォルダーを作成し、その中に連番ファイルを保存します。

「Videotron JPEG2000」タブ ——— VJ2 ファイルを入力ファイルに指定した時の設定

1. 抽出するフレーム

VJ2 ファイルから抽出するフレームを指定します。

No.	種類	備考
1	全フレーム	VJ2 ファイルに含まれる全フレームを抽出します。
2	サムネイルフレームのみ	サムネイルフレームに設定されているフレームのみを抽出します。 サムネイルフレームが設定されていない時は、先頭フレームを抽出します。

2. 全フレーム抽出オプション

出力するファイルに付ける連番の桁数と、サブフォルダー作成の有無、音声抽出の有無を設定します。
出力ファイルは「元のファイル名_連番」というファイル名になります。

No.	種類	備考
1	連番の桁数	連番の桁数を指定します。
2	サブフォルダーを作成する	出力フォルダーの下に VJ2 ファイル名のフォルダーを作成し、そのフォルダー内に連番ファイルを保存します。

なお、オプションダイアログ下部分の各種ボタンは以下のとおりです。

No.	ボタン	備考
1		オプションダイアログの表示が消え、ダイアログ内で設定した内容を適用します。
2		オプションダイアログの表示が消え、ダイアログ内で設定した内容をキャンセルします。
3	適用 (&A)	ダイアログ内で設定した内容を適用します。(ダイアログは表示されたままです。)

6.3.3. 出力フォーマットごとの設定ダイアログ

メインウィンドウのボタンをクリックすると、選択されているフォーマットに応じた詳細設定ダイアログが表示されます。設定は大きく分けて、フォーマットに依存する個別設定と、KEY の出力方法の 2 つの設定項目が存在します。

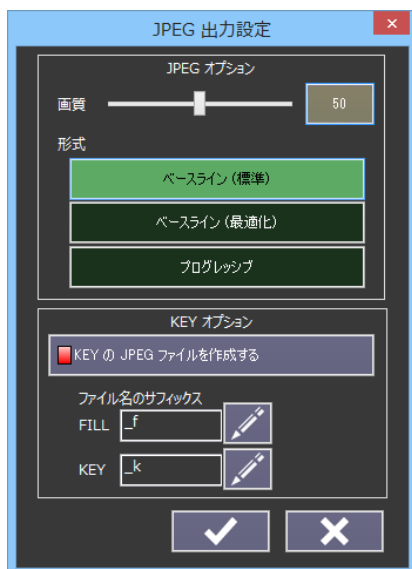
1. ビットマップ

TopDown 形式
先頭ラインから末尾ラインに向かってピクセルデータを保存します。
（通常は末尾ラインから先頭ラインの順）

KEY を出力しない
入力ファイルのアルファチャンネルを無視して、RGB データのみを保存します。

KEY を含む 32bit ビットマップを作成する
入力ファイルのアルファチャンネルを含む、32bit ビットマップを作成します。（環境によって表示できない場合があります）

FILL と KEY を個別のファイルに出力する
アルファチャンネルを別のファイルとして保存します
サフィックス（ファイル名末尾に付加する文字）を指定します。

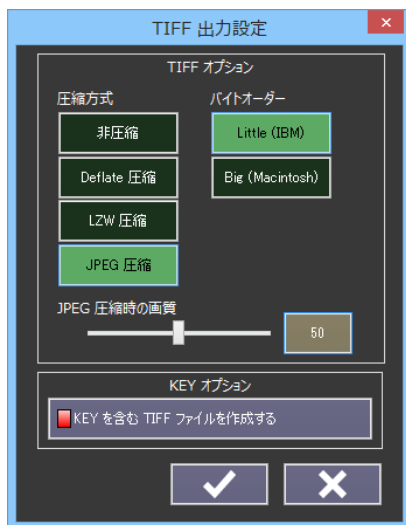
2. JPEG

画質
JPEG ファイルの画質を 0（最低）～100(最高)で指定します。

ベースライン(標準)
基本的な JPEG ファイルです。

ベースライン(最適化)
標準と比較して、ファイルサイズが若干小さくなります。

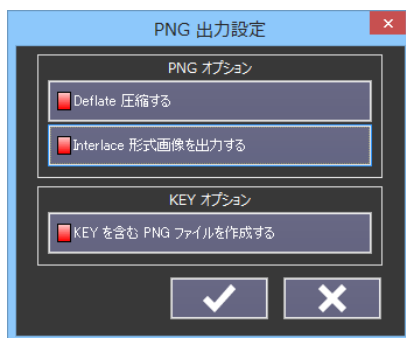
プログレッシブ
プログレッシブ JPEG を作成します。

KEY の JPEG ファイルを作成する
アルファチャンネルを別のファイルとして保存します
サフィックス（ファイル名末尾に付加する文字）を指定します。

3. TIFF

圧縮方式
TIFF ファイルの圧縮方式を指定します。
JPEG 圧縮を選択した時は、画質も同時に指定します。
（JPEG 圧縮は非可逆圧縮です）

バイトオーダー
ピクセルデータの並び順を指定します。

KEY を含む TIFF ファイルを作成する
アルファチャンネルを含む 32bit の TIFF ファイルを作成します。

4. PNG

Deflate 圧縮する
Deflate 圧縮（可逆圧縮）された PNG ファイルを作成します。

Interlace 形式画像を作成する
インターレース PNG を作成します。（ファイルサイズが膨らみます）

KEY を含む PNG ファイルを作成する
アルファチャンネルを含む 32bit の PNG ファイルを作成します。

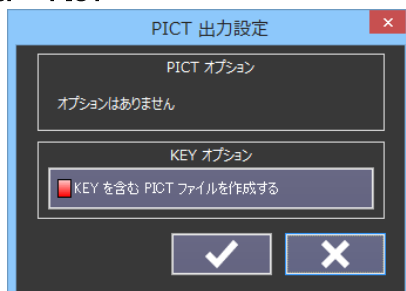
5. TARGA

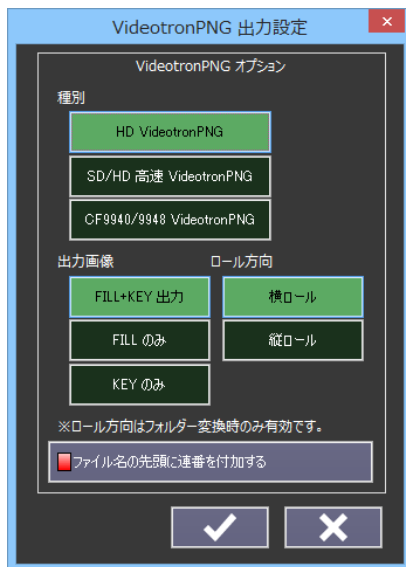
RLE 圧縮
画像をランレングス圧縮します。

TopDown 形式
先頭ラインからピクセルデータを末尾ラインに向かってピクセルデータを保存します。

Pixel の並びを反転
右から左に向かってピクセルデータを保存します。

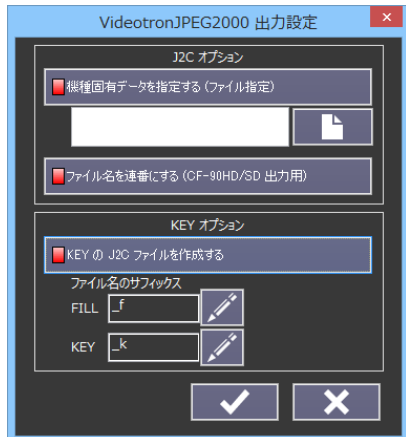
KEY を含む TARGA ファイルを作成する
アルファチャンネルを含む 32bit の TARGA ファイルを作成します。

6. PICT

KEY を含む PICT ファイルを作成する
アルファチャンネルを含む 32bit の PICT ファイルを作成します。

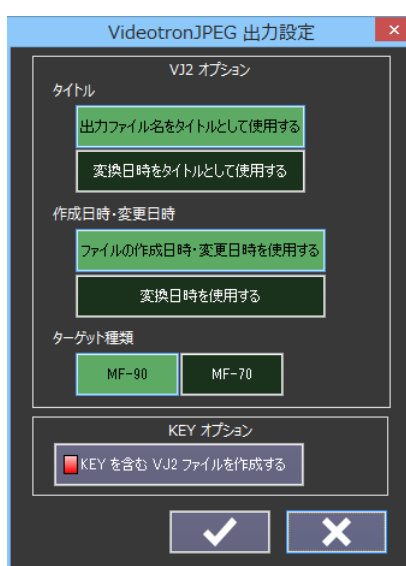
7. VideotronPNG

種別
出力する vPNG ファイルの種別を選択します。

出力画像
vPNG ファイルに含めるデータを選択します。

ロール方向
フォルダー単位で vPNG ファイルに変換すると、1 つのロール vPNG ファイルが作成されます。
その時のロール方向をここで指定します。

8. Videotron JPEG2000

機種固有データを指定する
J2C ファイルに含める機種固有データを、ファイルで指定します。
選択されたファイルの内容が機種固有データとして使用されます。

KEY の J2C ファイルを作成する
アルファチャンネルを別のファイルとして保存します
サフィックス(ファイル名末尾に付加する文字)を指定します。

9. Videotron JPEG

タイトル
タイトルの設定方法を選択します。

作成日時
作成日時の設定方法を選択します。

ターゲット種類
作成した VJ2 ファイルを格納するターゲット機器を選択します。

KEY を含む VJ2 ファイルを作成する
KEY データを含む VJ2 ファイルを作成します。

なお、各種詳細設定ダイアログ下部分の各種ボタンは以下のとおりです。

No.	ボタン	備考
1	✓	詳細設定ダイアログの表示が消え、ダイアログ内で設定した内容を適用します。
2	✕	詳細設定ダイアログの表示が消え、ダイアログ内で設定した内容をキャンセルします。

7. 画像ビューアソフト

7.1. 機能について

画像ビューアソフトは 3 つのパネルで構成され、各々のパネルにおいて機能がことなります。

No.	パネル	説明
1	PC パネル	PC 内にてアクセス可能な各種メディア内に格納されている画像ファイルの閲覧や印刷等を行うことができます。
2	ファイル装置パネル	各種ファイル装置(MF-90/MF-70/CF-90)を LAN 経由で接続し、各独自形式ファイル(VJ2/J2C)のファイル転送や移動/コピー/削除、印刷を行うことができます。 ※MF-90 接続時にはベースバンド収録(動画/静止画)を行うことができます。 CF-90 接続時にはドライブ切り替え(SSD/CF カード)を行うことができます。
3	仮想ファイル装置パネル	PC 内の指定フォルダー下に各種ファイル装置(MF-90/MF-70/CF-90)のファイル管理を仮想化することができます。 ここではファイル転送や移動/コピー/削除/印刷を行うことができます。 ※MF-90 のベースバンド収録、および CF-90 のドライブ切り替えを行うことはできません。

7.2. 対応フォーマット

表示可能なフォーマットは以下の通りです。

ファイル形式		備考
BMP	RGB/カラーマップ/GRAY、非圧縮/RLE 圧縮	JPEG・PNG 形式 BMP は非対応
JPG	RGB/YCbCr/GRAY、ベースライン/プログレッシブ	ロスレス JPEG は非対応
PCT	16・32 ビット Direct Bit、2～8 ビット Pixmap	
PNG	RGB/カラーマップ/GRAY、アルファチャンネル対応 非圧縮/Deflate 圧縮	
PSD	Adobe® Photoshop® 形式、8 ビット RGB	
SWF	Adobe® Flash® 形式	先頭フレームの画像を表示します。
TGA	RGB/カラーマップ/GRAY、Image Origin ビット対応 非圧縮/RLE 圧縮	
TIF	RGB/CMYK/YCbCr/GRAY、非圧縮/JPEG 圧縮/Deflate 圧縮	マルチページ TIFF には非対応
PNG	高速 VPNG、通常 VPNG、CF9940/45VPNG に対応	ビデオトロン独自形式
J2C		ビデオトロン独自形式
VJ2	静止画・音声付静止画・動画	ビデオトロン独自形式
STW ST5	静止画・ロール	ビデオトロン独自形式 （送出イメージデータを含むファイルのみ対応）

※ Adobe Flash ファイルは、先頭フレームの画像を表示します。

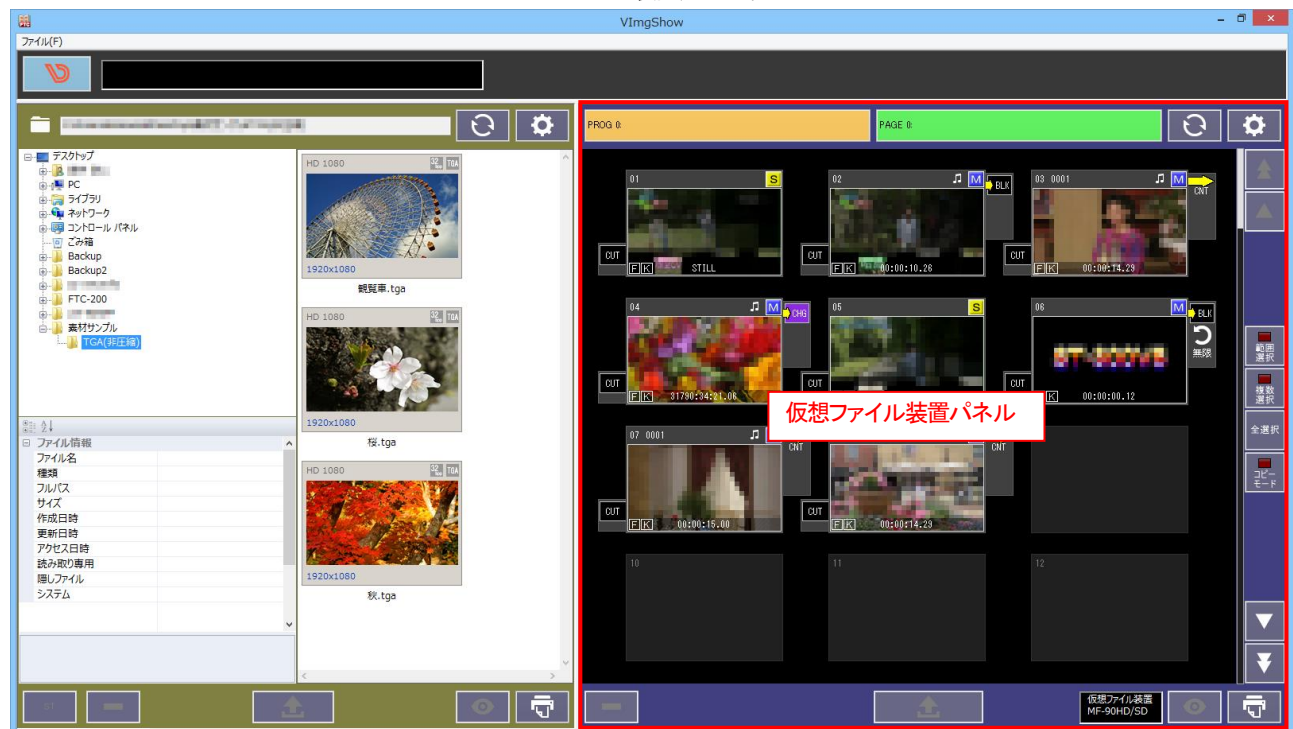
※ 複数の画像を含む VideotronPNG ファイルや STW/ST5 ファイルは、先頭の画像のみを表示します。

※ 動画の VJ2 ファイルの場合、サムネイルフレーム（未設定の時は先頭フレーム）の画像を表示します。

7.3. 各部の名称と働き

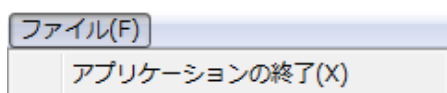
7.3.1. メインウィンドウ

ソフトウェアを起動すると、メインウィンドウが表示されます。

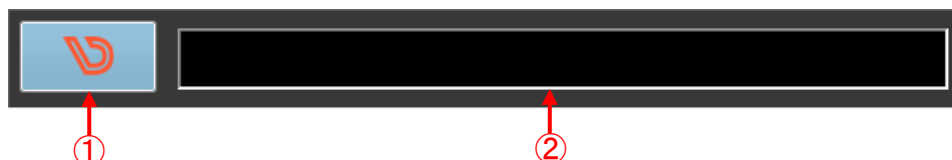
PC/ファイル装置表示の場合

PC/仮想ファイル装置表示の場合

ファイル装置/仮想ファイル装置表示の場合

「メニューバー」

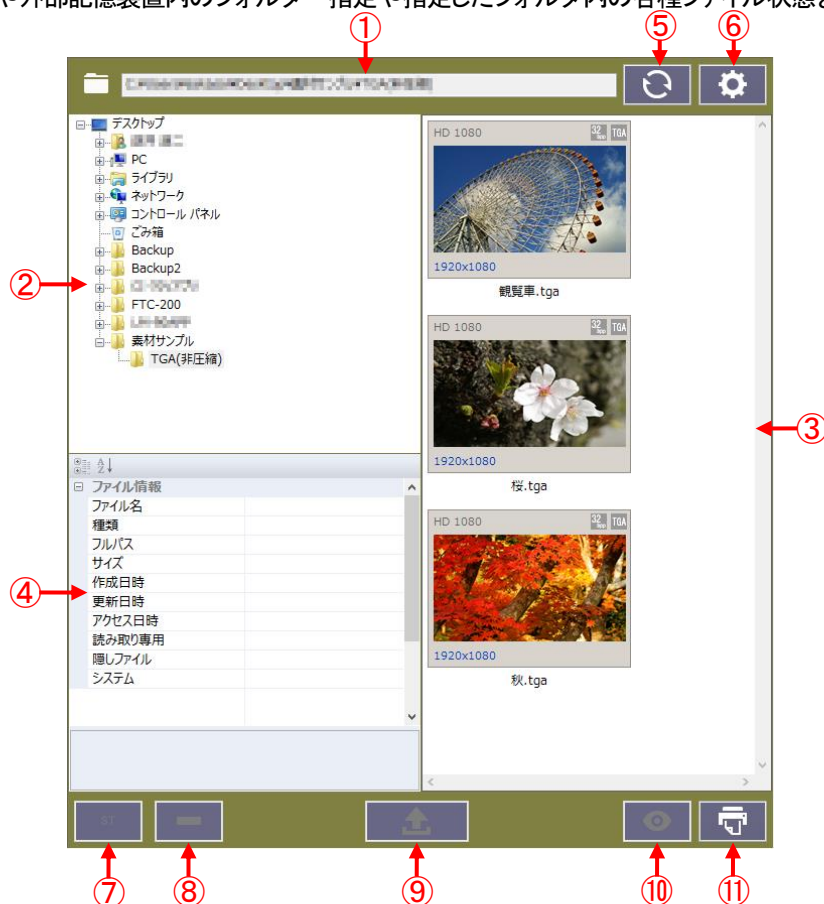
メインメニューです。メニューの詳細は次のとおりです。

アプリケーションの終了……………本ソフトウェアを終了します。

「メインパネル」

本アプリケーションのメイン操作や処理状態を表示します。

1. **[メイン]ボタン**
   このボタンをクリックするとメインコントロールダイアログが表示され、本アプリケーションの各種設定やアプリケーション終了などメインの操作を行うことができます。

2. **[メインメッセージ]領域**
   本アプリケーションの状態や各種機能実行時の処理状態をメッセージで表示します。

「PC パネル」

起動 PC の記憶装置や外部記憶装置内のフォルダー指定や指定したフォルダ内の各種ファイル状態を閲覧/操作します。

1. **[フォルダーパス]領域**

   現在選択しているフォルダーのパスを表示します。

2. **[ツリー]領域**

   コンピュータのフォルダー構造を、ツリー形式で表示します。
   このツリーで選択したフォルダー内のファイルが、リスト領域サムネイルとして表示されます。

3. **[リスト]領域**

   ツリー領域で選択したフォルダー内のファイルをサムネイルとして表示します。
   読み込み可能な画像ファイルについてはサムネイル画像を、それ以外のフォルダー/ファイルはアイコンを表示します。
   サムネイル/アイコンの詳細は次のとおりです。

画像ファイルの場合

その他のフォルダー･ファイルの場合

No.	種類	備考
1	画像サイズ情報、 フォルダー/ファイル情報	一般的な画像サイズの場合に、その名称を表示します。(「HD 1080」「NTSC」「VGA」など)対応していないフォーマットの画像や、その他のフォルダー・ファイルの場合には、ファイル種別を表示します。
2	ファイル種別(アイコン表示)	画像の色深度とファイルフォーマットをアイコンで表示します。
3	サムネイル画像	リスト設定ダイアログにて設定されたサイズで、画像をサムネイル表示します。 対応していないフォーマットの画像や、その他のフォルダー/ファイルの場合にはアイコンを表示します。
4	画像サイズ	画像サイズを「幅×高さ」で表示します。
5	フォルダー/ファイル名	フォルダー/ファイル名を拡張子を含めた形で表示します。

4. [プロパティ]領域

リスト領域内に選択しているサムネイル(ファイル)の詳細情報を表示します。
選択するファイルによって表示される項目が異なります。

5. [リスト更新]ボタン

このボタンをクリックするとリスト内の表示内容を更新します。

6. [リスト設定]ボタン

このボタンをクリックするとリスト設定ダイアログが表示され、リストの各種設定を行うことができます。

7. [ST]ボタン

そのボタンをクリックすると ST 入力アプリケーションが自動起動し、指定した ST ファイルを読み込みテロップ編集します。
※このボタンを使用するには同じ PC 上に ST 入力アプリケーションがインストールされている必要があります。

8. [ファイル削除]ボタン

このボタンをクリックすると指定したファイルを削除します。

9. [ファイル転送]ボタン

隣接しているターゲットファイル装置へ指定したファイルを転送します。
このボタンをクリックすると転送先ファイル位置指定ウィンドウが表示され、転送先のファイル位置を指定することができます。

10. [ファイルプレビュー]ボタン

このボタンをクリックするとプレビューウィンドウが表示され、指定したファイルの画像イメージをプレビューすることができます。

11. [リストプリント]ボタン

このボタンをクリックすると印刷ウィンドウが表示され、現在選択しているフォルダー内の画像ファイルのイメージをプリントアウトすることができます。

「ファイル装置パネル」

MF-90/MF-70/CF-90 などのファイル装置を接続し、そのファイル状態を閲覧/操作します。

1. 接続状態アイコン

現在、ファイル装置が接続されているかどうかをアイコンで表記しています。

No.	アイコン	備考
1		現在接続中です。
2		現在切断中です。

2. [接続/切断]ボタン

予めファイル装置情報設定ダイアログにてメイン設定されたファイル装置を接続/切断します。
ボタン内のアイコン表示により動作が異なります。

No.	アイコン	備考
1		現在切断状態です。クリックすることで接続することができます。
2		現在接続状態です。クリックすることで切断することができます。

3. [ファイル装置情報設定]ボタン

このボタンをクリックするとファイル装置情報設定ダイアログが表示され、ファイル装置の登録管理を行います。

4. [プログラム]ボタン

ボタン内に現在選択しているプログラム No.と名称(MF-90/MF-70 のみ)が表示されます。
このボタンをクリックするとプログラム選択ダイアログが表示され、プログラムを選択します。

5. [ページ]ボタン

ボタン内に現在選択しているページ No.と名称(MF-90/MF-70 のみ)が表示されます。
このボタンをクリックするとページ選択ダイアログが表示され、ページを選択します。

6. [ファイルリスト]領域

指定したプログラム/ページ内のファイルをサムネイルでリスト表示します。
表示しているサムネイルを選択し、移動/コピー/削除を行います。
ファイル移動　…サムネイルを選択後、リスト内をドラッグ&ドロップします。
　　　　　　　　(コピーモード ON の場合はファイルコピーになります。)
ファイルコピー　…サムネイルを選択後、リスト内を Ctrl + ドラッグ&ドロップします。(コピーモード OFF の場合)
　　　　　　　…サムネイルを選択後、リスト内をドラッグ&ドロップします。(コピーモード ON の場合)
ファイル削除　…サムネイルを選択後、Delete キーを選択します。
ファイルリスト右側の上下ボタンをクリックすることでファイルリストをスクロールします。
サムネイル/アイコンの詳細は次のとおりです。

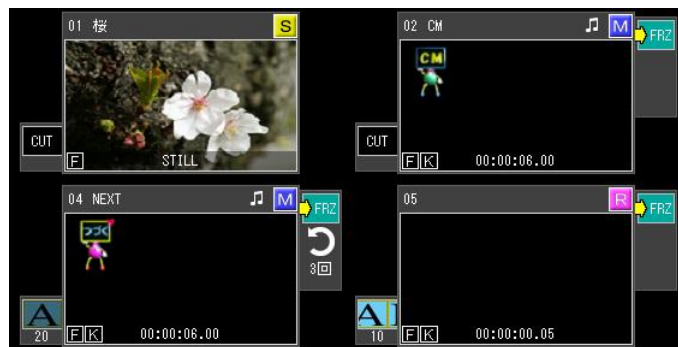



図5-2-12 ファイルリストサムネイル表示

項目名	内　容
ファイル No.	ファイルの No.を表示します。
タイトル	ファイルのタイトルを表示します。
♫	AUDIO が登録されているファイルです。
構成	ファイルのデータ構成を表示します。 M …動画(ムービー) S …静止画(スチール) R …ロール
サムネイルイメージ	ファイルのイメージを表示します。 動画 / ロールの場合は任意場所のフレームイメージを表示します。
FILL/KEY	ファイルの FILL/KEY 状態を表示します。 F …FILL が登録されています。 K …KEY が登録されています。
デュレーション	ファイルのデュレーション(時:分:秒:フレーム)を表示します。 静止画のみのファイルは STILL を表示します。
CHG モード	チェンジ動作を設定します。 無指定 …メインで設定されている CHG モードにしたがいます。 CHG …通常の CHG 動作をします。 C&S …CHG と同時に動画再生を開始します。 S LOCK …動画ファイルを CHG した場合、そのファイルを START/STOP させるまで 次ファイルの CHG がロックされます。
	編集が禁止されているファイルです。
トランジション	送出開始時に動作するトランジションの各種情報を表示します。 トランジションの各種情報は下記「トランジション」を参照してください。
再生終了	動画やデュレーション付き静止画ファイルの送出が終了したときの最終フレーム動作を 表示します。再生終了の各種情報は下記「再生終了」を参照してください。
ファイルリピート	送出時のリピート条件を表示します。 ファイルリピートの各種情報は下記「ファイルリピート」を参照してください。

各種トランジション形式ごとの表示は以下の通りです

No.	種 類	内　容
1	CUT	カットです。
2		フェードです。アイコン下には長さ(フレーム)を表示します。
3		ディゾルブです。アイコン下には長さ(フレーム)を表示します。
4		左方向のスクロールです。アイコン下には長さ(フレーム)を表示します。
5		右方向のスクロールです。アイコン下には長さ(フレーム)を表示します。
6		上方向のスクロールです。アイコン下には長さ(フレーム)を表示します。
7		下方向のスクロールです。アイコン下には長さ(フレーム)を表示します。
8		左方向のスライドです。アイコン下には長さ(フレーム)を表示します。
9		右方向のスライドです。アイコン下には長さ(フレーム)を表示します。
10		上方向のスライドです。アイコン下には長さ(フレーム)を表示します。
11		下方向のスライドです。アイコン下には長さ(フレーム)を表示します。
12		左方向のサイドワイプです。アイコン下には長さ(フレーム)を表示します。
13		右方向のサイドワイプです。アイコン下には長さ(フレーム)を表示します。
14		上方向のサイドワイプです。アイコン下には長さ(フレーム)を表示します。
15		下方向のサイドワイプです。アイコン下には長さ(フレーム)を表示します。
16		水平オープンのセンターワイプです。アイコン下には長さ(フレーム)を表示します。
17		水平クローズのセンターワイプです。アイコン下には長さ(フレーム)を表示します。
18		垂直オープンのセンターワイプです。アイコン下には長さ(フレーム)を表示します。
19		垂直クローズのセンターワイプです。アイコン下には長さ(フレーム)を表示します。
20		中央オープンのセンターワイプです。アイコン下には長さ(フレーム)を表示します。
21		中央クローズのセンターワイプです。アイコン下には長さ(フレーム)を表示します。

各ファイルの右側には再生終了設定、またはループ再生のアイコンが表示されます。

No.	種 類	内　容
1	CHG	AFTER CHANGE です。
2	FRZ	FREEZE です。

3	BLK	BLACK です。
4	CHG	CONTINUE です。
5	ARW	AUTO REWIND です。

No.	種 類	内　容
1	3回	回数です。アイコン下には回数を表示します。
2	00:00 10:00	時間です。アイコン下には時間(時:分:秒:フレーム)を表示します。
3	無限	無限です。

7. [リスト更新]ボタン

このボタンをクリックするとリスト内の表示内容を更新します。

8. [リスト設定]ボタン

このボタンをクリックするとリスト設定ダイアログが表示され、リストの各種設定を行います。

9. [ファイル範囲選択]ボタン

1 つファイル選択するとこのボタンがアクティブ状態となり、クリックする度にボタン内のインジケータが点灯/消去し、範囲選択の ON/OFF を切り替えます。

範囲選択 ON 状態では、先に選択したファイルからこれより選択するファイルまでに含まれるファイルを選択状態にします。1 度範囲選択が完了すると自動的にこのボタンは消灯状態(範囲選択 OFF)になります。

10. [ファイル複数選択]ボタン

このボタンをクリックする度にボタン内のインジケータが点灯/消灯し、複数選択の ON/OFF を切り替えます。

複数選択 ON 状態では、非選択状態のサムネイルをクリックすることで選択状態に、選択状態のサムネイルをクリックすることで非選択状態になります。

11. [全選択]ボタン

このボタンをクリックすると現在指定しているプログラム/ページ内の全ファイルを選択状態にします。

12. [コピーモード]

このボタンをクリックする度にボタン内のインジケータが点灯/消灯し、ファイルコピーモードの ON/OFF を切り替えます。

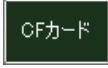
コピーモード ON 状態では、選択ファイルのドラッグ&ドロップ操作によりファイルコピーを実行します。

コピーモード OFF 状態では、選択ファイルのドラッグ&ドロップ操作によりファイル移動を実行します。

13. 接続ファイル装置個別機能領域

この領域には接続しているファイル装置個別の機能ボタンが表示/操作できます。
接続されるファイル装置により表示される機能ボタンが異なります。

●MF-90を接続している場合

ベースバンド収録の機能ボタンが表示されます。

No.	ボタン	備考
1		動画収録ダイアログが表示され、MF-90の画像/音声入力による動画収録を行います。
2		静止画収録ダイアログが表示され、MF-90の画像/音声入力による静止画収録を行います。

●MF-70を接続している場合

この領域に機能ボタンは表示されません。

●CF-90を接続している場合

ファイルアクセス先のドライブを選択するための機能ボタンが表示されます。

No.	ボタン	備考
1	SSD	CF-90内のSSDドライブをアクセス対象にします。
2	CFカード	CF-90内のCFカードドライブをアクセス対象にします。

14. [ファイル削除]ボタン

このボタンをクリックするとファイル削除ダイアログが表示され、指定したファイルを削除します。
そのほかDeleteキーの入力でもファイル削除します。

15. [ファイル転送]ボタン

隣接しているPCフォルダー/仮想ターゲットファイル装置へ指定したファイルを転送します。
仮想ターゲットファイル装置へ転送する場合、このボタンをクリックすると転送先ファイル位置指定ダイアログが表示され、転送先のファイル位置を指定します。
そのほかリスト内のサムネイルをPCフォルダー/仮想ターゲットファイル装置パネルのリスト内へドラッグ&ドロップ操作した場合もファイルを転送します。

16. [ファイル装置メッセージ]領域

ファイル装置パネル内の処理状態をメッセージ表示します。

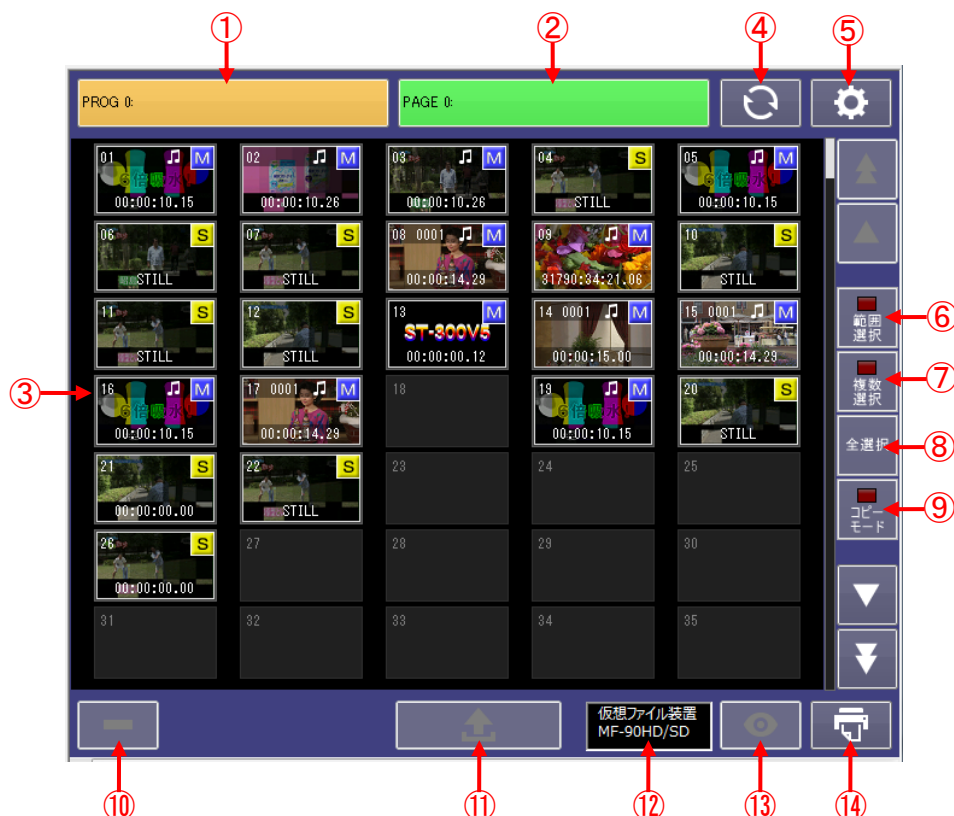
17. [ファイルプレビュー]ボタン

このボタンをクリックするとプレビューダイアログが表示され、指定したファイルの画像イメージをプレビューします。

18. [リストプリント]ボタン

このボタンをクリックすると印刷ダイアログが表示され、現在選択しているフォルダー内の画像ファイルのイメージをプリントアウトします。

「仮想ファイル装置パネル」

起動 PC の記憶装置や外部記憶装置内の任意フォルダー内にファイル装置のファイル階層を構築し、ファイル状態を閲覧/操作します。

1. **[プログラム]ボタン**
   ボタン内に現在選択しているプログラム No.と名称(MF-90/MF-70 のみ)が表示されます。
   このボタンをクリックするとをクリックするとプログラム選択ダイアログが表示され、プログラムを選択します。

2. **[ページ]ボタン**
   ボタン内に現在選択しているページ No.と名称(MF-90/MF-70 のみ)が表示されます。
   このボタンをクリックするとをクリックするとページ選択ダイアログが表示され、ページを選択します。

3. **[ファイルリスト]領域**
   指定したプログラム/ページ内のファイルをサムネイルでリスト表示します。
   表示しているサムネイルを選択し、移動/コピー/削除を行います。
   ファイル移動　…サムネイルを選択後、リスト内をドラッグ&ドロップします。
   　　　　　　　(コピーモード ON の場合はファイルコピーになります。)
   ファイルコピー　…サムネイルを選択後、リスト内を Ctrl + ドラッグ&ドロップします。(コピーモード OFF の場合)
   　　　　　　　…サムネイルを選択後、リスト内をドラッグ&ドロップします。(コピーモード ON の場合)
   ファイル削除　…サムネイルを選択後、Delete キーを選択します。
   ファイルリスト右側の上下ボタンをクリックすることでファイルリストをスクロールします。
   サムネイル/アイコンの詳細は「ファイル装置パネルの同項目を参照ください。

4. **[リスト更新]ボタン**
   このボタンをクリックするとリスト内の表示内容を更新します。

5. **[リスト設定]ボタン**
   このボタンをクリックするとリスト設定ダイアログが表示され、リストの各種設定を行います。

6. [ファイル範囲選択]ボタン

1 つファイル選択するとこのボタンがアクティブ状態となり、クリックする度にボタン内のインジケータが点灯/消去し、範囲選択の ON/OFF を切り替えます。
範囲選択 ON 状態では、先に選択したファイルからこれより選択するファイルまでに含まれるファイルを選択状態にします。1 度範囲選択が完了すると自動的にこのボタンは消灯状態(範囲選択 OFF)になります。

7. [ファイル複数選択]ボタン

このボタンをクリックする度にボタン内のインジケータが点灯/消灯し、複数選択の ON/OFF を切り替えます。
複数選択 ON 状態では、非選択状態のサムネイルをクリックすることで選択状態に、選択状態のサムネイルをクリックすことで非選択状態になります。

8. [全選択]ボタン

このボタンをクリックすると現在指定しているプログラム/ページ内の全ファイルを選択状態にします。

9. [コピーモード]

このボタンをクリックする度にボタン内のインジケータが点灯/消灯し、ファイルコピーモードの ON/OFF を切り替えます。
コピーモード ON 状態では、選択ファイルのドラッグ&ドロップ操作によりファイルコピーを実行します。
コピーモード OFF 状態では、選択ファイルのドラッグ&ドロップ操作によりファイル移動を実行します。

10. [ファイル削除]ボタン

このボタンをクリックするとファイル削除ダイアログが表示され、指定したファイルを削除します。
そのほか Delete キーの入力でもファイル削除します。

11. [ファイル転送]ボタン

隣接している PC フォルダー/ターゲットファイル装置へ指定したファイルを転送します。
ターゲットファイル装置へ転送する場合、このボタンをクリックすると転送先ファイル位置指定ダイアログが表示され、転送先のファイル位置を指定します。
そのほかリスト内のサムネイルを PC フォルダー/ターゲットファイル装置パネルのリスト内へドラッグ&ドロップ操作した場合もファイルを転送します。

12. [仮想ファイル装置メッセージ]領域

仮想ファイル装置パネル内の処理状態をメッセージ表示します。

13. [ファイルプレビュー]ボタン

このボタンをクリックするとプレビューダイアログが表示され、指定したファイルの画像イメージをプレビューします。

14. [リストプリント]ボタン

このボタンをクリックすると印刷ダイアログが表示され、現在選択しているフォルダー内の画像ファイルのイメージをプリントアウトします。

7.3.2. メインコントロールダイアログ

メインパネル内の[メイン]ボタンをクリックすると、メインコントロールダイアログが表示されます。

1. **[アプリケーション情報]領域**
   本アプリケーションのバージョン等、各種情報を表示します。

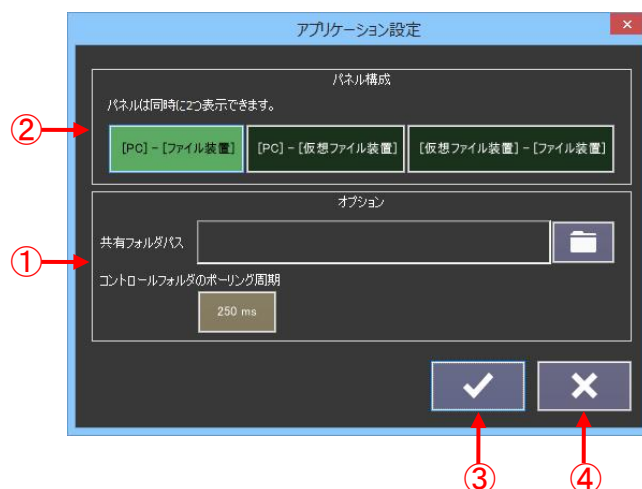
2. **[アプリケーション設定]ボタン**
   このボタンをクリックするとアプリケーション設定ダイアログが表示され、アプリケーションの各種設定を行います。

3. **[アプリケーションログ]ボタン**
   このボタンをクリックするとアプリケーションログダイアログが表示され、現在までのアプリケーション処理ログを閲覧します。

4. **[アプリケーション終了]ボタン**
   このボタンをクリックするとメインコントロールダイアログの表示が消え、本アプリケーションが終了します。

5. **[閉じる]ボタン**
   このボタンをクリックするとメインコントロールダイアログが閉じます。

7.3.3. アプリケーション設定ウィンドウ

メインコントロールウィンドウ内の[アプリケーション設定]ボタンをクリックすると、アプリケーション設定ダイアログが表示されます。

1. **パネル構成**

本アプリケーションは一度に表示できるメインウィンドウ内のパネルがメインパネルを除いて 2 つまでです。
これにより PC/ファイル装置/仮想ファイル装置の内、いずれか 2 つの組み合わせを選択する必要があります。

No.	項目	備考
1	[PC] – [ファイル装置]	メインウィンドウの左側に PC パネル、右側にファイル装置パネルを表示します。
2	[PC] – [仮想ファイル装置]	メインウィンドウの左側に PC パネル、右側に仮想ファイル装置パネルを表示します。
3	[仮想ファイル装置] – [ファイル装置]	メインウィンドウの左側に仮想ファイル装置パネル、右側にファイル装置パネルを表示します。

2. **オプション**

本アプリケーションは通常起動の他にオプション起動があり、オプション動作時に必要となる共有フォルダーのパスやコントロールフォルダー内に格納される各種指示ファイルをポーリングする周期時間を設定します。

No.	項目	備考
1	共有フォルダー	オプション動作時に上位アプリケーションとのファイル交換として必要となる共有フォルダーのパスが表示され、右側のボタンをクリックすることでフォルダー指定ダイアログが表示され、フォルダーパスを指定します。
2	ポーリング周期	オプション動作時にコントロールフォルダー内に格納される各種指示ファイルをポーリングするための周期時間が表示され、このボタンをクリックすることで数値入力ダイアログが表示され、周期時間を数値入力します。

3. **[設定]ボタン**

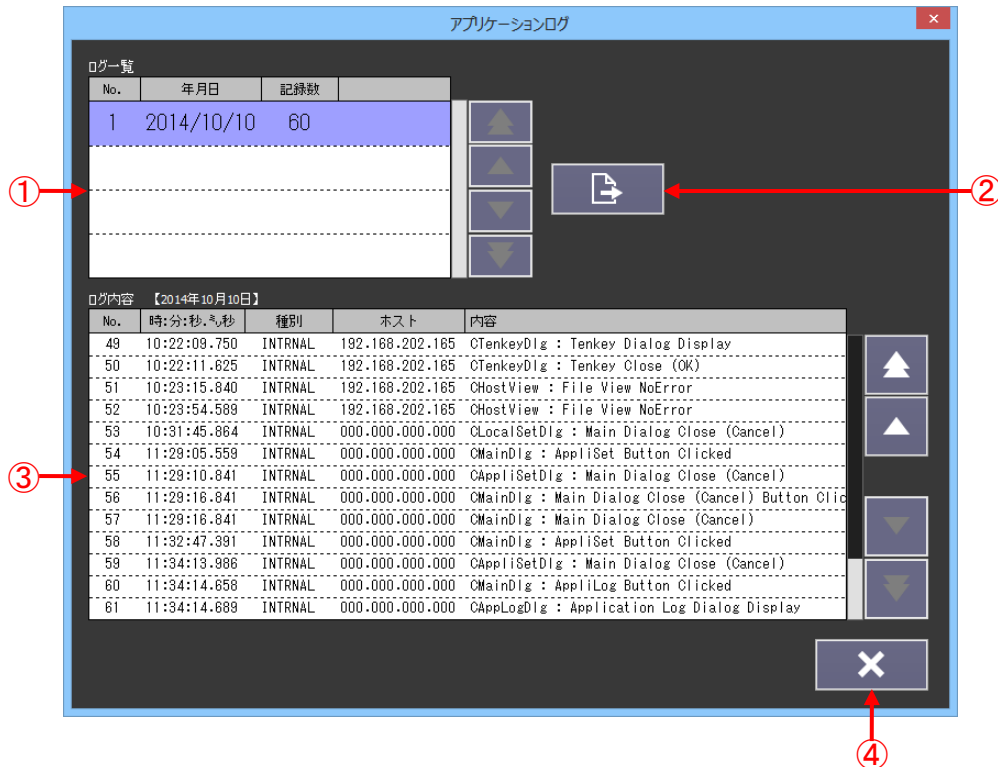
このボタンをクリックするとアプリケーション設定ダイアログの表示が消え、ダイアログ内で設定した内容を適用します。

※ **パネル構成を変更した場合、変更内容を反映するにはアプリケーションを再起動する必要があります。**

4. **[キャンセル]ボタン**

このボタンをクリックするとアプリケーション設定ダイアログの表示が消え、ダイアログ内で設定した内容をキャンセルします。

7.3.4. アプリケーションログダイアログ

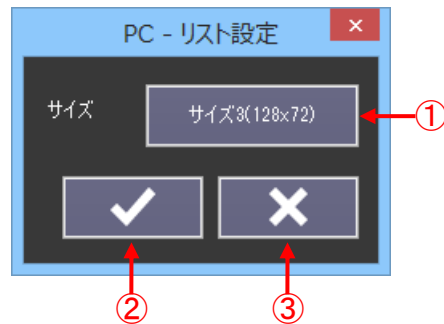
メインコントロールダイアログ内のアプリケーションログボタンをクリックすると、アプリケーションログダイアログが表示されます。

1. **[ログ一覧リスト]領域**
   現在までに記録されているアプリケーションログを年月日単位でリスト表示します。
   任意のログ部分をクリックすることでそのログを選択します。1 度に選択できるログは 1 つです。
   リスト横には記録されている全ログに対して現在リストに表示されているログの位置を表示します。
   さらにその横の各種上下ボタンをクリックすることにより、リストをスクロールします。

2. **[エクスポート]ボタン**
   ファイル保存ダイアログが表示され、選択しているログの内容を CSV フォーマットのファイルとしてエクスポートします。

3. **[ログ内容リスト]領域**
   選択しているログの内容をリスト表示します。
   リスト横には全ログ内容に対して現在リストに表示されているログ内容の位置を表示します。
   さらにその横の各種上下ボタンをクリックすることにより、リストをスクロールします。

4. **[閉じる]ボタン**
   アプリケーションログダイアログの表示が消えます。

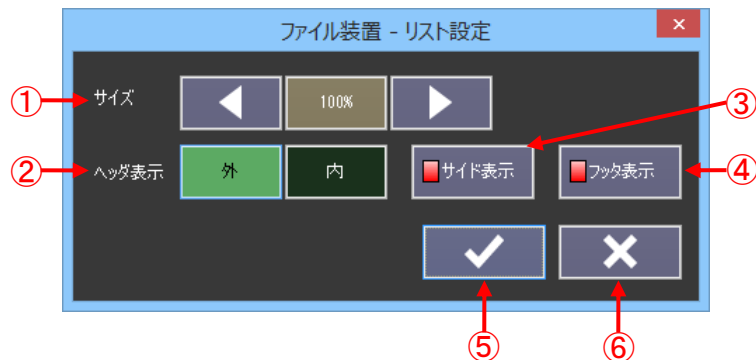
7.3.5.　PC － リスト設定ダイアログ

PC パネル内のリスト設定ボタンをクリックすると、PC － リスト設定ダイアログが表示されます。

1. **[サイズ設定]ボタン**
   このボタンをクリックするとリストサムネイルサイズ選択ダイアログが表示され、リストのサムネイルサイズを選択します。
   サイズ設定後、直ちにリスト内のサムネイルサイズが更新されます。

2. **[設定]ボタン**
   このボタンをクリックするとリスト設定ダイアログの表示が消え、ダイアログ内で設定した内容を適用します。

3. **[キャンセル]ボタン**
   このボタンをクリックするとリスト設定ダイアログの表示が消え、ダイアログ内で設定した内容をキャンセルします。

7.3.6.　ファイル装置 － リスト設定ダイアログ

ファイル装置パネル内のリスト設定ボタンをクリックすると、ファイル装置 － リスト設定ダイアログが表示されます。

1.　サイズ設定

リストのサムネイルサイズを選択します。サイズの単位は%(パーセンテージ)、設定範囲は 50～200%です。
サイズ選択後、直ちにリスト内のサムネイルサイズが変更されます。

No.	ボタン	備考
1		サムネイルサイズを−1 します。
2	50%	数値入力ダイアログが表示され、サムネイルサイズを数値入力します。
3		サムネイルサイズを+1 します。

2.　ヘッダ表示切り替え

サムネイルヘッダの表示位置を切り替えます。

No.	ボタン	備考
1	外	ヘッダをサムネイルの外側に表示します。
2	内	ヘッダをサムネイルの内側に表示します。

3.　[サイド表示]チェック

サムネイルのサイド表示 ON/OFF を切り替えます。

4.　[フッタ表示]チェック

サムネイルフッタ表示 ON/OFF を切り替えます。

5.　[設定]ボタン

このボタンをクリックするとリスト設定ダイアログの表示が消え、ダイアログ内で設定した内容を適用します。

6.　[キャンセル]ボタン

このボタンをクリックするとリスト設定ダイアログの表示が消え、ダイアログ内で設定した内容をキャンセルします。

7.3.7. 仮想ファイル装置 － リスト設定ダイアログ

仮想ファイル装置パネル内のリスト設定ボタンをクリックすると、仮想ファイル装置 － リスト設定ダイアログが表示されます。

1. サイズ設定

リストのサムネイルサイズを選択します。サイズの単位は%(パーセンテージ)、設定範囲は 50～200%です。
サイズ選択後、直ちにリスト内のサムネイルサイズが変更されます。

No.	ボタン	備考
1		サムネイルサイズを−1 します。
2	50%	数値入力ダイアログが表示され、サムネイルサイズを数値入力します。
3		サムネイルサイズを+1 します。

2. ヘッダ表示切り替え

サムネイルヘッダの表示位置を切り替えます。

No.	ボタン	備考
1	外	ヘッダをサムネイルの外側に表示します。
2	内	ヘッダをサムネイルの内側に表示します。

3. [サイド表示]ボタン

サムネイルのサイド表示 ON/OFF を切り替えます。

4. [フッタ表示]ボタン

サムネイルフッタ表示 ON/OFF を切り替えます。

5. ターゲットファイル装置切替

ターゲットとするファイル装置種類を切り替えます。

No.	種類	備考
1	MF−90	MF−90 をターゲットとします。
2	MF−70	MF−70 をターゲットとします。
3	CF−90	CF−90 をターゲットとします。

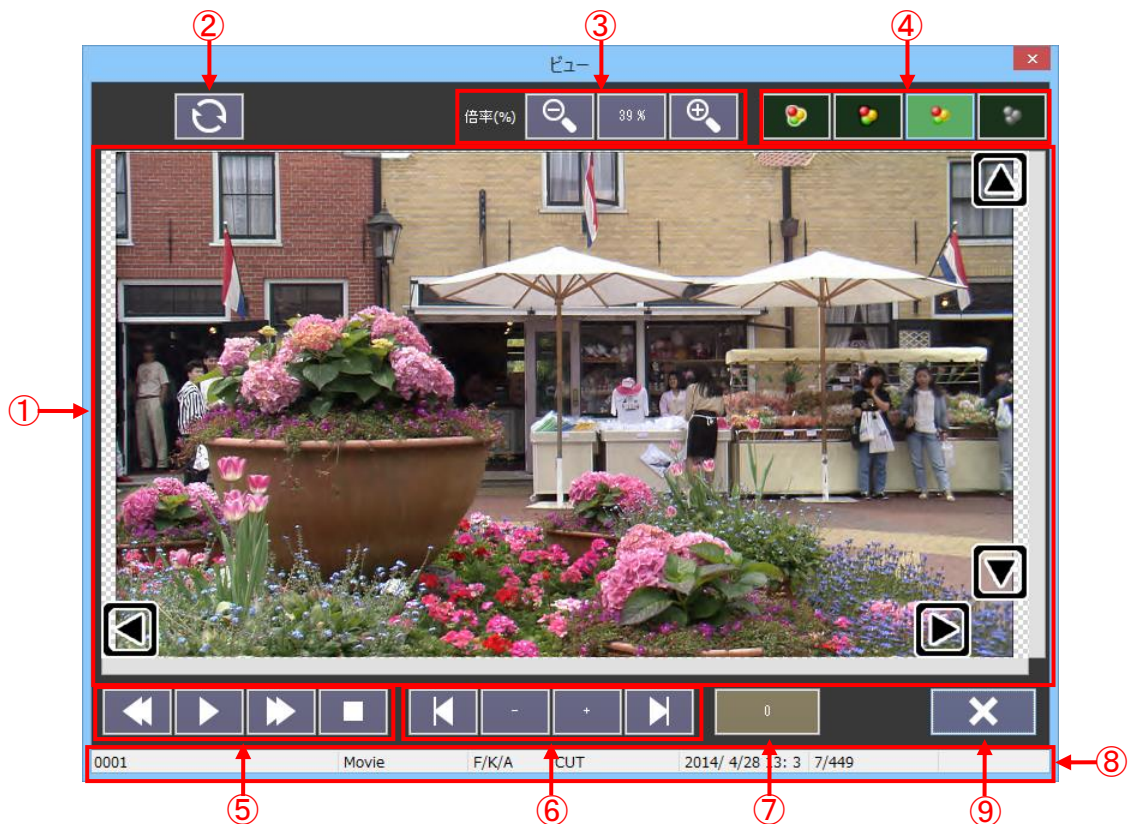
6. ターゲットファイル装置フォルダーパス表示/設定

ターゲットとする各種ファイル装置のデータ格納場所(フォルダーパス)が表示され、右側のボタンをクリックすることでフォルダー指定ダイアログが表示され、フォルダーパスを指定します。

7. **[設定]ボタン**
   このボタンをクリックするとリスト設定ダイアログの表示が消え、ダイアログ内で設定した内容を適用します。

8. **[キャンセル]ボタン**
   このボタンをクリックするとリスト設定ダイアログの表示が消え、ダイアログ内で設定した内容をキャンセルします。

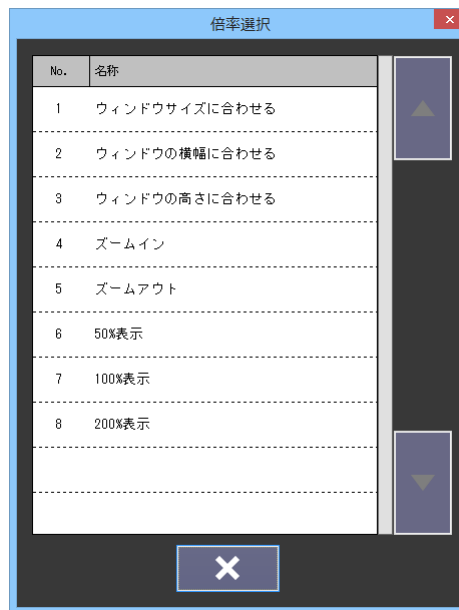
7.3.8. プレビューダイアログ

各種パネルの ［ファイルプレビュー］ボタンをクリックすると、プレビューダイアログが表示されます。

1. **［イメージ表示］領域**
   選択しているファイルの画像が表示されます。
   画像全体がウィンドウ内に表示しきれていない時、領域内をクリックすると四隅にスクロールボタンが表示され、クリックすることで画像全体をスクロールします。

2. **［イメージ更新］ボタン**
   このボタンをクリックすると現在表示中の画像を再読み込み、表示します。

3. **倍率選択**
   イメージの表示倍率を切り替えます。

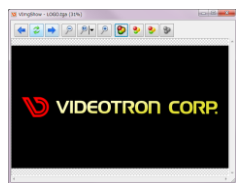
No.	ボタン	備考
1		表示倍率を下げて、ズームアウトします。
2	20 %	倍率選択ダイアログが表示され、任意の倍率を選択します。
3		表示倍率を上げて、ズームインします。

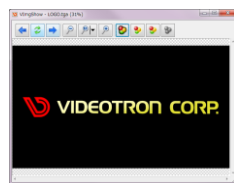
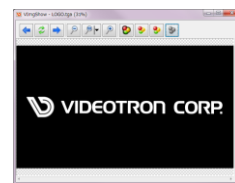
※プレビューダイアログが表示された直後にイメージ表示がない場合、イメージ更新ボタンをクリックしてください。

No.	表示	備考
1	ウィンドウサイズに合わせる	画像全体が表示されるようにズームします。
2	ウィンドウの横幅に合わせる	画像の横幅をウィンドウサイズに合わせてズームします。
3	ウィンドウの高さに合わせる	画像の高さをウィンドウサイズに合わせてズームします。
4	ズームイン	表示倍率を上げて、ズームインします。
5	ズームアウト	表示倍率を下げて、ズームアウトします。
6	50%表示	表示倍率を 50%(縮小表示)にします。
7	100%表示	表示倍率を 100%(等倍表示)にします。
8	200%表示	表示倍率を 200%(拡大表示)にします。
9		倍率選択ダイアログの表示が消え、倍率選択をキャンセルします。

4. 表示切替

イメージの表示形式を切り替えます。

No.	ボタン	備考
1		白背景の上に画像をアルファブレンド表示します。
2		黒背景の上に画像をアルファブレンド表示します。
3		画像の RGB チャンネルのみを表示します。
4		画像のアルファチャンネルのみを表示します。

黒背景／白背景／RGB／アルファチャンネルのみ のボタンにより、次のように表示が切り替わります。

黒背景アルファブレンド

白背景アルファブレンド

RGB チャンネルのみ

アルファチャンネルのみ

5. 再生コントロール

動画ファイルをプレビューする場合、フレームを連続表示して動画再生するようコントロールします。

No.	ボタン	備考
1	REV	動画再生を巻き戻します。
2	PLAY	動画再生を開始します。
3	FFWD	動画再生を早送りします。
4	STOP	再生中の動画を停止します。

6. フレームコントロール

動画ファイルをプレビューする場合、表示フレームを指定します。

No.	ボタン	備考
1	HEAD	動画の最初フレームを表示します。
2	-	現在表示フレームを 1 戻ります。
3	+	現在表示フレームを 1 進みます。
4	LAST	動画の最終フレームを表示します。

7. [現在フレーム設定]ボタン

このボタンをクリックすると数値入力ダイアログが表示され、現在フレームを数値で入力します。

8. [プレビュー情報表示]領域

現在表示しているファイルの各種情報を表示します。

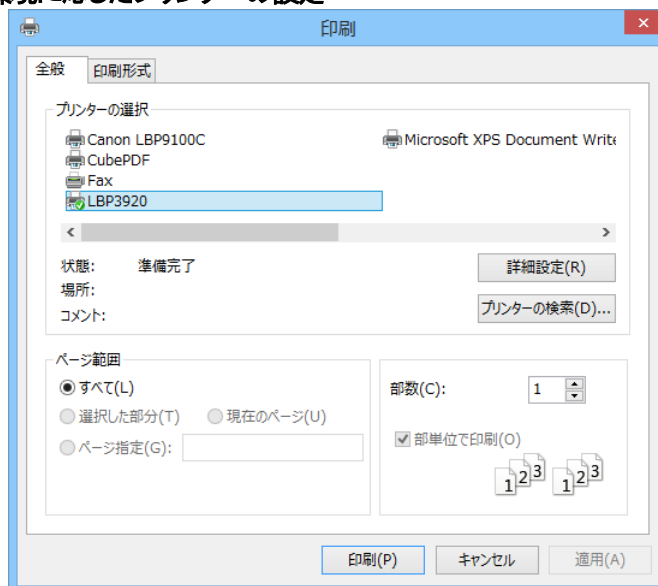
9. [閉じる]ボタン

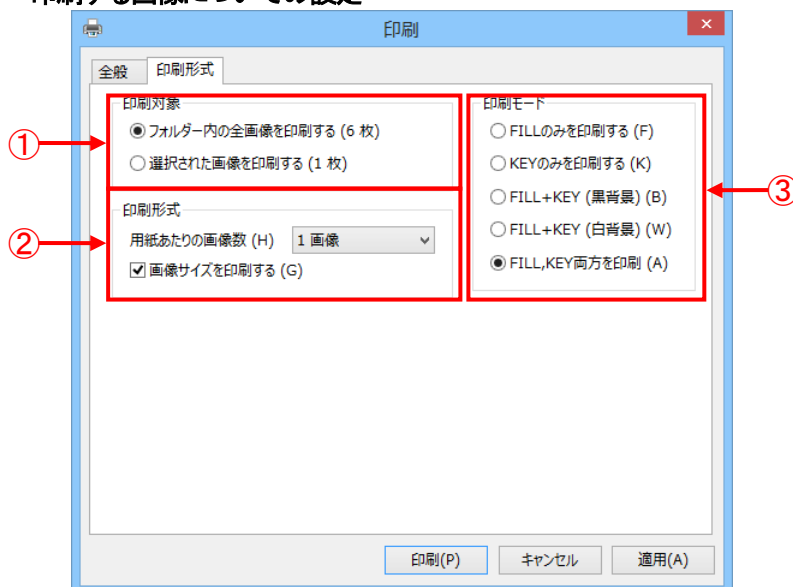
このボタンをクリックするとプレビューダイアログを閉じます。

7.3.9. 印刷ダイアログ(PC パネル)

表示しているフォルダー内の画像を、印刷することができます。用紙 1 枚に 1 画像を印刷するほかに、コンタクトシート(用紙 1 枚に複数の画像を出力)のような印刷形式も選択することができます。

※ サムネイルが表示されていない(読み出し中も含む)画像は印刷対象に含まれません。
※ 画質重視で印刷を行うため、スプールデータのサイズが非常に大きくなります。
※ 特に PDF に出力した場合、PDF 変換の設定によっては 100 MB を超える場合もあります。

「全般」タブ ——— 使用環境に応じたプリンターの設定

※ 詳しくはお使いのコンピューター・周辺機器の取扱説明書をご参照ください。

「印刷形式」タブ——— 印刷する画像についての設定

1. 印刷対象

フォルダー内の全画像を印刷するか、選択されている画像のみを印刷するかを指定します。

2. 印刷形式

用紙 1 枚に印刷する画像数と、画像サイズ(幅×高さ)を印刷するかを指定します。
用紙あたりの画像数は、以下から選択することができます。

No.	表示	備考
1	1 画像	用紙 1 枚に 1 画像を印刷
2	2 画像(1x2)	2 行 1 列で 2 画像を印刷
3	8 画像(2x4)	4 行 2 列で 8 画像を印刷
4	15 画像(3x5)	5 行 3 列で 16 画像を印刷
5	24 画像(4x6)	6 行 4 列で 24 画像を印刷
6	40 画像(5x8)	8 行 5 列で 40 画像を印刷

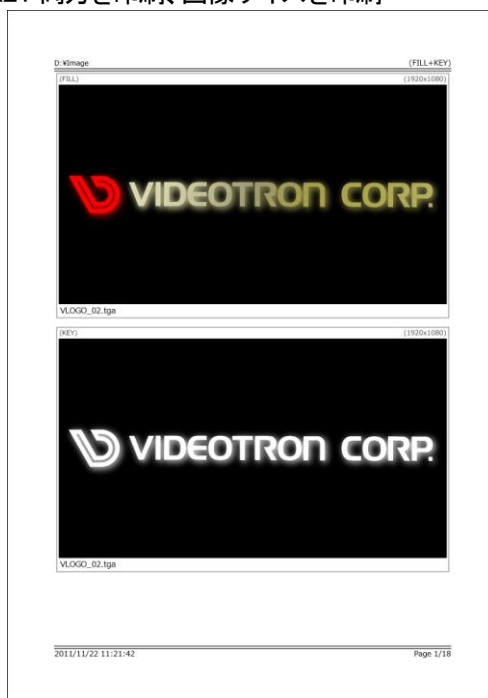
3. 印刷モード

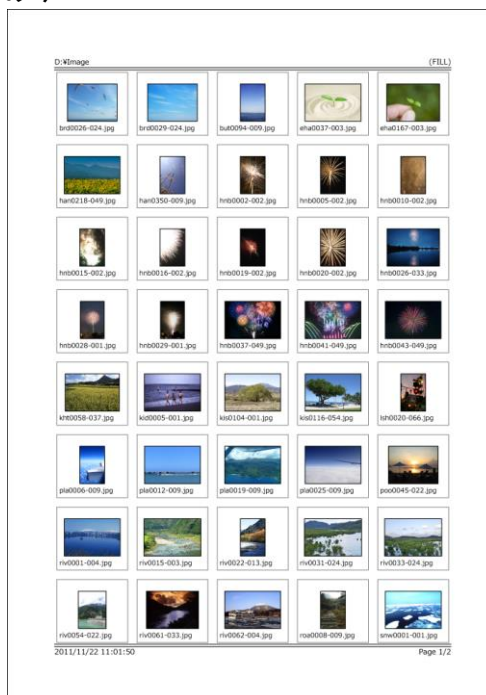
画像の印刷方法を指定します。

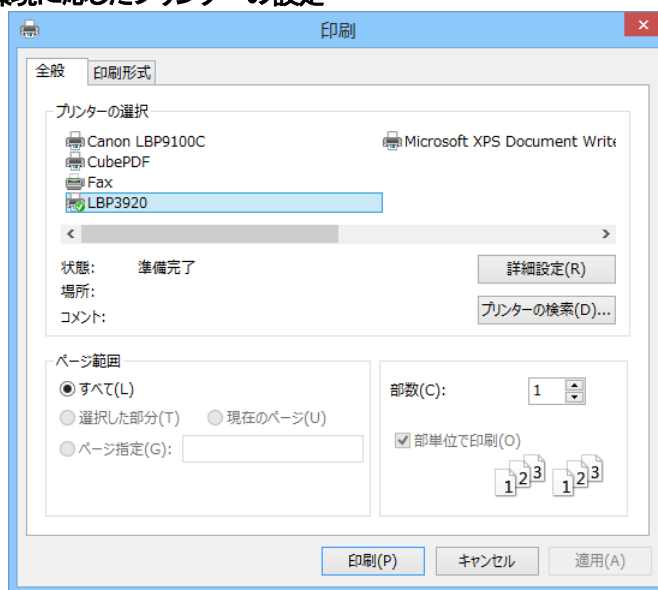
No.	表示	備考
1	FILL のみを印刷する	画像の FILL のみを印刷します。
2	KEY のみを印刷する	画像の KEY のみを印刷します。KEY が含まれていない場合は白で印刷されます。
3	FILL+KEY（黒背景）	黒背景の上に画像をアルファブレンドして印刷します。
4	FILL+KEY（白背景）	白背景の上に画像をアルファブレンドして印刷します。
5	FILL,KEY 両方を印刷	FILL と KEY 両方を印刷します。最初に FILL、次に KEY が印刷されます。 KEY が含まれていない場合、KEY は白で印刷されます。

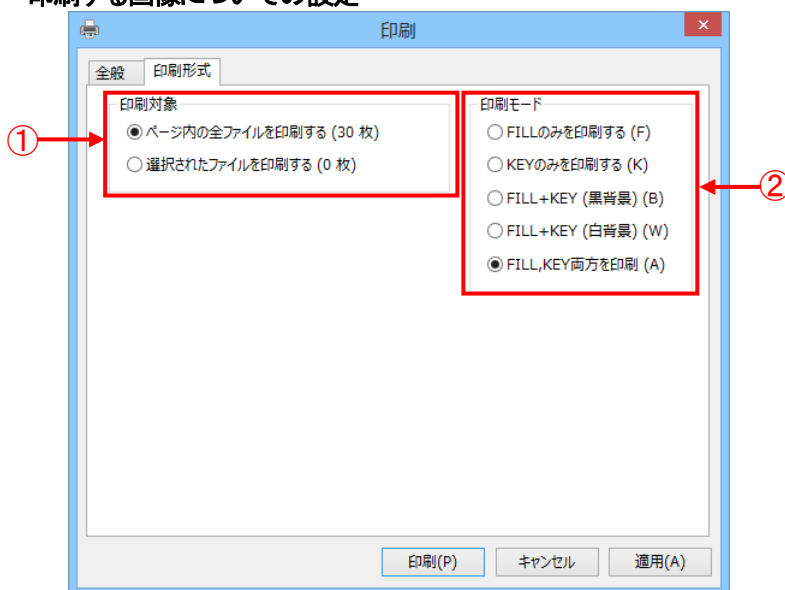
印刷サンプル

- 用紙 1 枚に 1 画像表示、FILL のみ、画像サイズを印刷

- 用紙 1 枚に 2 画像表示、FILL,KEY 両方を印刷、画像サイズを印刷

- 用紙 1 枚に 8 画像表示、FILL,KEY 両方を印刷、画像サイズを印刷

- 用紙 1 枚に 40 画像表示、FILL のみ

7.3.10.　印刷ダイアログ(ファイル装置、仮想ファイル装置)

「全般」タブ ――― 使用環境に応じたプリンターの設定

※　詳しくはお使いのコンピューター・周辺機器の取扱説明書をご参照ください。

「印刷形式」タブ――― 印刷する画像についての設定

1.　印刷対象

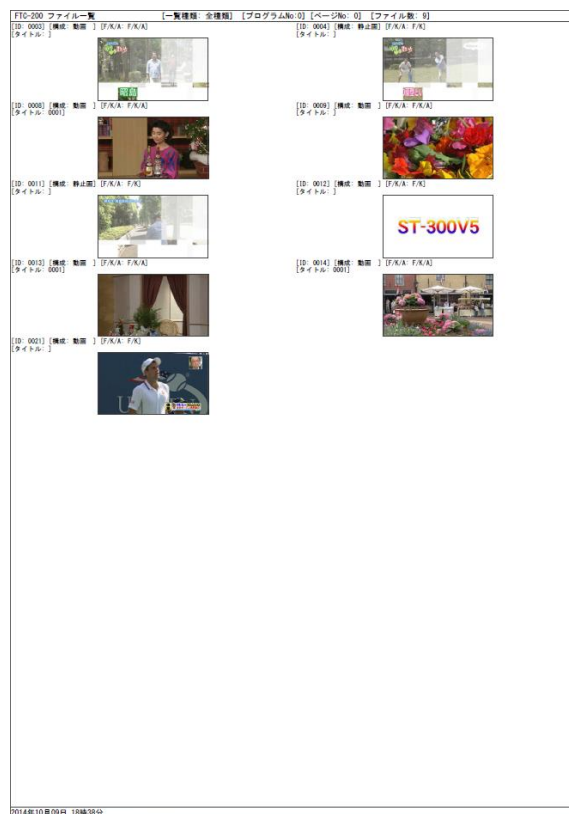
ページ内の全ファイルを印刷するか、選択されているファイルのみを印刷するかを指定します。

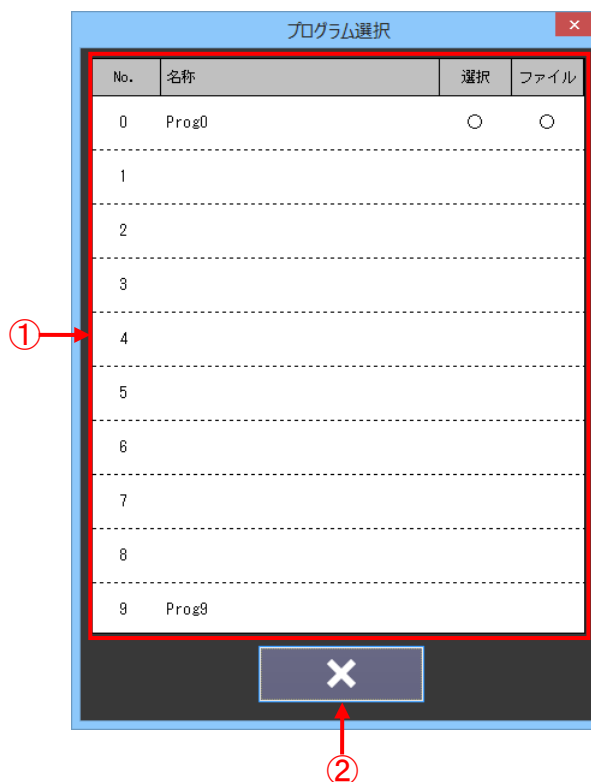
2.　印刷モード

画像の印刷方法を指定します。
印刷方法については「7.3.9.-3.印刷モード」と同様ですのでそちらを参照してください。

印刷サンプル

- FILL, KEY 両方を印刷

- FILL+KEY(白背景)を印刷

7.3.11. プログラム選択ダイアログ(ファイル装置/仮想ファイル装置)

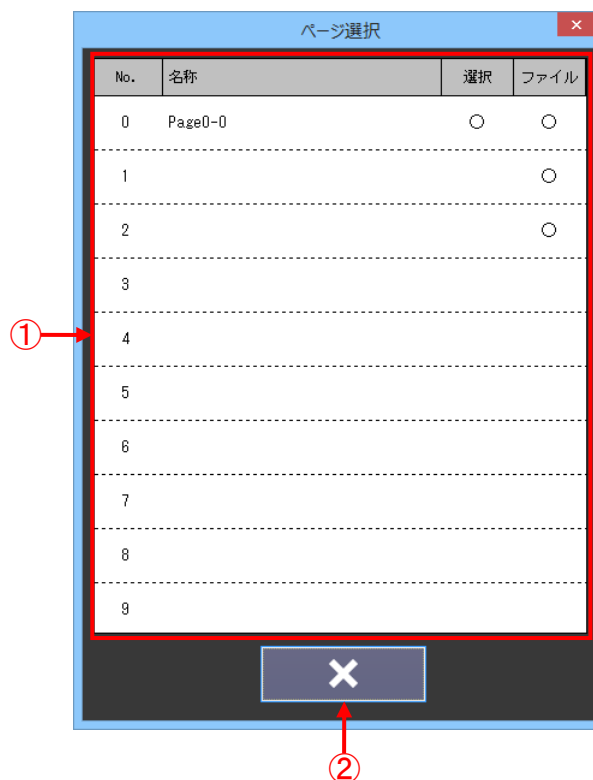
ファイル装置パネル(または仮想ファイル装置パネル)内のプログラムボタンをクリックすると、プログラム選択ダイアログが表示されます。

1. **[選択リスト]領域**

   プログラム No.と名称の一覧を表示します。
   現在選択しているプログラムには選択カラムに"○"が表示されます。
   ファイルのあるプログラムにはファイルカラムに"○"が表示されます。
   任意のプログラム No.をクリックするとプログラム選択ダイアログが閉じ、プログラムボタンには選択したプログラムの No. + 名称が表示されます。
   ※ MF-90/MF-70 接続時にはプログラム No.には 0～9 が、CF-90 接続時には 1～10 が表示されます。
   ※ CF-90 接続時にはプログラム名称は表示されません。

2. **[閉じる]ボタン**

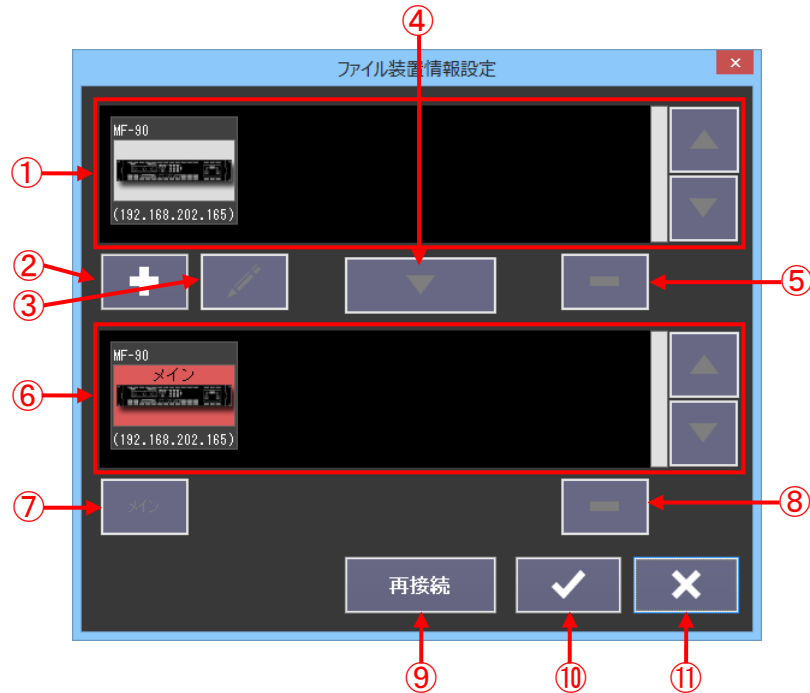
   プログラム選択ダイアログの表示が閉じ、プログラム選択をキャンセルします。

7.3.12. ページ選択ウィンドウ(ファイル装置、仮想ファイル装置)

ファイル装置パネル(または仮想ファイル装置パネル)内のページボタンをクリックすると、ページ選択ダイアログが表示されます。

1. **[選択リスト]領域**
   ページ No.と名称の一覧を表示します。
   現在選択しているページには選択カラムに"○"が表示されます。
   ファイルのあるページにはファイルカラムに"○"が表示されます。
   任意のページ No.をクリックするとページ選択ウィンドウが閉じ、ページボタンには選択したページのNo. + 名称が表示されます。
   ※ MF-90/MF-70 接続時にはページ No.には 0～9 が、CF-90 接続時には 1～10 が表示されます。
   ※ CF-90 接続時にはページ名称は表示されません。

2. **[閉じる]ボタン**
   ページ選択ダイアログの表示が閉じ、ページ選択をキャンセルします。

7.3.13. ファイル装置情報設定ダイアログ

ファイル装置パネル内のリスト設定ボタンをクリックすると、リスト設定ダイアログが表示されます。

1. **[情報リスト]領域**
   本アプリケーションにて接続すべきファイル装置情報の一覧を表示します。
   領域内で任意のファイル装置アイコンをクリックすると選択状態になります。
   ※選択できるアイコンは 1 つです。

2. **[情報追加]ボタン**
   ボタンをクリックするとファイル装置情報新規ダイアログが表示され、ファイル装置情報を新たに追加します。

3. **[情報編集]ボタン**
   ボタンをクリックするとファイル装置情報編集ダイアログが表示され、現在選択しているファイル装置情報を編集します。

4. **[登録]ボタン**
   ボタンをクリックすると現在選択しているファイル装置情報を接続対象として登録します。

5. **[情報削除]ボタン**
   ボタンをクリックすると現在選択しているファイル装置情報を削除します。

6. **[登録リスト]領域**
   接続対象としているファイル装置の一覧を表示します。
   領域内で任意のファイル装置アイコンをクリックすると選択状態になります。
   ※選択できるアイコンは 1 つです。

7. **[メイン]ボタン**
   ボタンをクリックすると現在選択しているファイル装置をメイン(主接続対象)にします。

8. **[登録削除]ボタン**
   ボタンをクリックすると現在選択しているファイル装置の登録を削除します。

9. [接続]ボタン

ボタンをクリックするとそれまで接続しているファイル装置を切断し、現在メイン対象になっているファイル装置を接続します。

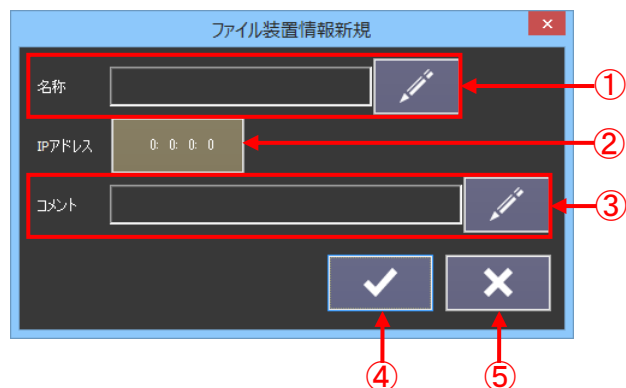
10. [設定]ボタン

ファイル装置情報設定ダイアログの表示が閉じ、ウィンドウ内の設定が適用されます。

11. [キャンセル]ボタン

ファイル装置情報設定ダイアログの表示が閉じ、ウィンドウ内の設定がキャンセルされます。

7.3.14. ファイル装置情報新規/編集ダイアログ

ファイル装置情報設定ダイアログ内の情報追加/編集ボタンをクリックすると、ファイル装置情報新規/編集ダイアログが表示されます。

1. **名称設定**
   現在入力している、または選択したファイル装置情報の名称が名称領域に表示されます。
   また、名称領域右側の名称入力ボタンをクリックすると文字入力ダイアログが表示され、名称を入力します。

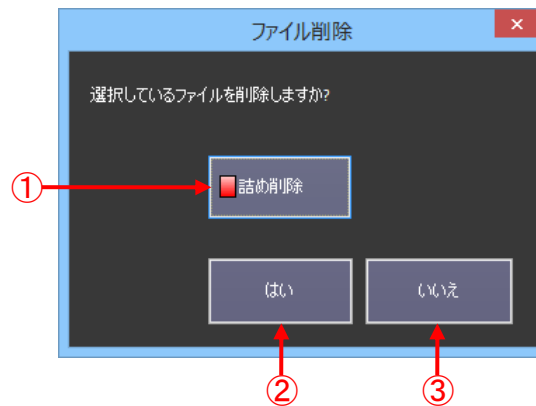
2. **[IP アドレス設定]ボタン**
   現在入力している、または選択したファイル装置情報の IP アドレスがボタン内に表示されます。
   このボタンをクリックすると数値入力ダイアログが表示され、IP アドレスを入力します。

3. **コメント設定**
   現在入力している、または選択したファイル装置情報のコメントがコメント領域に表示されます。
   また、コメント領域右側のコメント入力ボタンをクリックすると文字入力ダイアログが表示され、コメントを入力します。

4. **[設定]ボタン**
   ファイル装置情報新規/編集ダイアログの表示が閉じ、ダイアログ内の設定が適用されます。

5. **[キャンセル]ボタン**
   ファイル装置情報新規/編集ダイアログの表示が閉じ、ダイアログ内の設定がキャンセルされます。

7.3.15.　ファイル削除ダイアログ(ファイル装置/仮想ファイル装置)

ファイル装置パネル内のファイル削除ボタンをクリックすると、ファイル削除ダイアログが表示されます。

1.　**[詰め削除指定]チェック**

選択したファイルを削除した際、後ろのファイルを詰めるかどうかの ON/OFF を設定します。

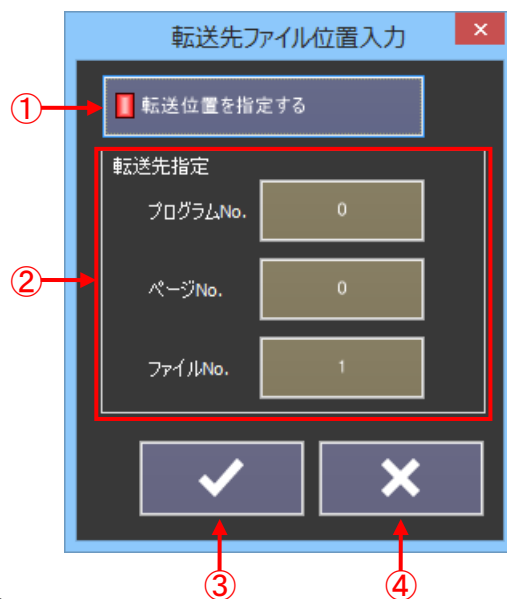
2.　**[はい]ボタン**

ファイル削除ダイアログの表示が閉じ、指定した内容にしたがいファイルを削除します。

3.　**[いいえ]ボタン**

ファイル削除ダイアログの表示が閉じ、ファイル削除をキャンセルします。

7.3.16. 転送先ファイル位置指定ダイアログ

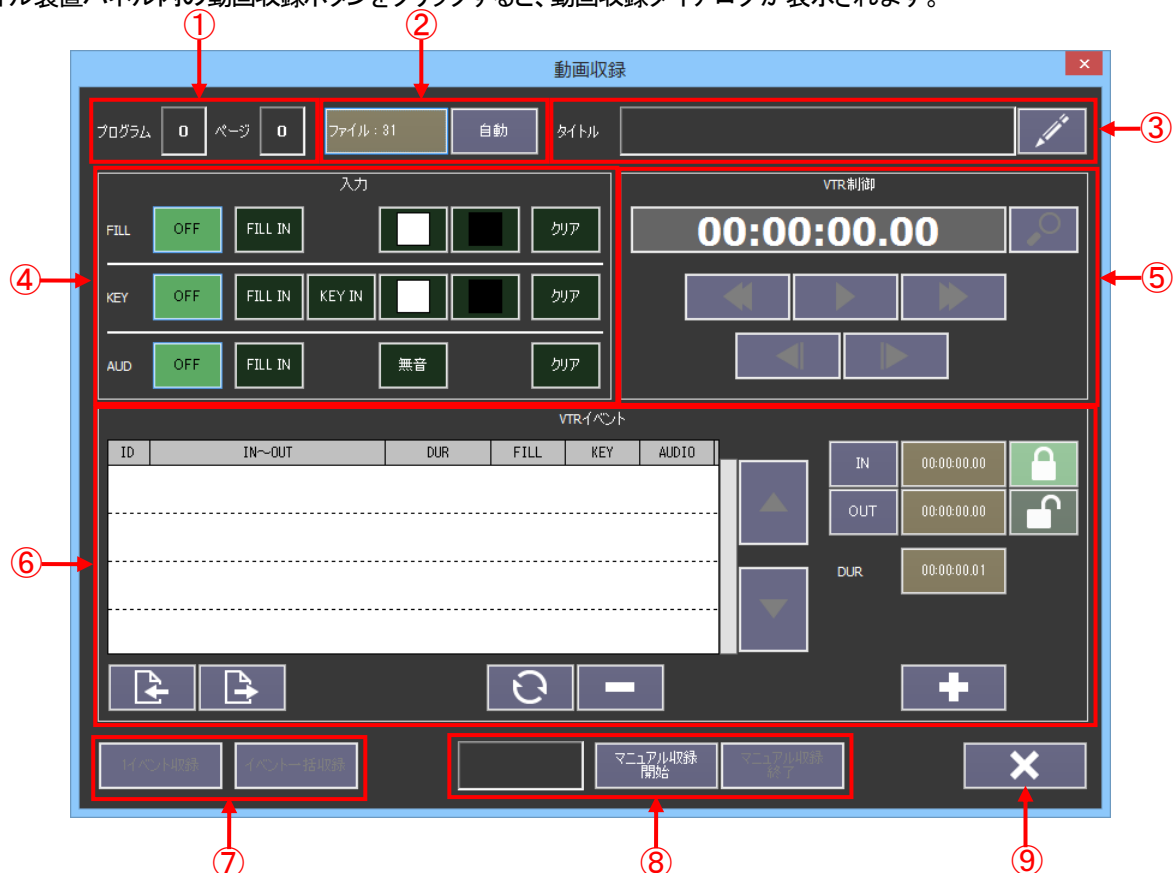
PC/ファイル装置/仮想ファイル装置パネルからファイル装置/仮想ファイル装置パネルへファイル転送する際、
転送先ファイル位置入力ダイアログが表示されます。

1. **転送位置指定 ON/OFF ボタン**
   このボタンをクリックする度にボタン内のインジケータが点灯/消灯し、転送先位置指定の ON/OFF を切り替えます。
   転送位置指定 ON 状態では、ダイアログ中央の転送先指定にしたがいファイルを転送します。
   実際には指定位置からの空きファイル部分に転送します。
   転送位置指定 OFF 状態では、転送元と同じ位置にファイルを転送します。
   転送先位置にファイルが存在している場合は、上書きするかしないかを選択します。

2. **転送先指定**
   転送先のプログラム/ページ/ファイル No.をそれぞれ指定します。(転送位置指定 ON 状態のみ指定できます。)
   各ボタンをクリックすると数値入力ダイアログが表示され、それぞれの No.を入力します。

3. **[指定]ボタン**
   このボタンをクリックすると転送先ファイル位置入力ダイアログの表示が閉じ、指定内容にしたがいファイルを転送します。

4. **[キャンセル]ボタン**
   このボタンをクリックすると転送先ファイル位置入力ダイアログの表示が閉じ、ファイル転送をキャンセルします。

7.3.17. 動画収録ダイアログ

ファイル装置パネル内の動画収録ボタンをクリックすると、動画収録ダイアログが表示されます。

1. **プログラム/ページ No.領域**
   収録対象となるプログラム/ページ No.(現在の指定)を表示します。

2. **ファイル No.指定**
   収録先となるファイル No.をこのボタン内に表示します。
   動画収録ダイアログを表示した直後は現在の指定プログラム/ページ No.内の空きファイル No.を表示します。
   このボタンをクリックすると数値入力ダイアログが表示され、任意のファイル No.を入力します。

3. **タイトル設定**
   収録するファイルのタイトルがタイトル領域に表示されます。
   また、タイトル領域右側のタイトル入力ボタンをクリックすると文字入力ダイアログが表示され、タイトルを入力します。

4. **入力指定**
   動画収録する際の入力構成(FILL/KEY/AUDIO)を指定します。

No.	項目	内容
1	OFF FILL IN クリア	FILL の収録構成を指定します。 OFF …FILL を収録しません。 FILL IN …FILL INPUT からの映像を収録します。 白 …白映像を収録します。 黒 …黒映像を収録します。 クリア …既に登録済みの FILL を削除します。
2	OFF FILL IN KEY IN クリア	KEY の収録構成を指定します。 OFF …KEY を収録しません。 FILL IN …FILL INPUT からの映像を収録します。 KEY IN …KEY INPUT からの映像を収録します。 白 …白映像を収録します。 黒 …黒映像を収録します。 クリア …既に登録済みの KEY を削除します。

3		AUDIO 収録構成を指定します。 OFF …AUDIO を収録しません。 FILL IN …FILL INPUT からの音声(エンベデッド)を収録します。 無音 …無音を収録します。 クリア …既に登録済みの AUDIO を削除します。

5. VTR コントロール

ファイル装置(MF-90HD/SD)に接続されている VTR をリモート操作します。

No.	項目	内容
1	08:48:41.21	VTR のカウントを表示/入力します。
2		VTR を入力カウントまで頭出しします。
3		VTR を再生します。
4		VTR 再生を停止します。
5		VTR を巻き戻します。
6		VTR を早送りします。
7		VTR を前後にコマ送りします。

6. VTR イベント指定

VTR イベントの設定を行います。

No.	項目	内容
1	更新	現在のファイル ID、入力指定、IN/OUT 点、デュレーションを選択リスト内容に更新します。
2	削除	選択している IN/OUR 点情報リストを削除します。
3	CSV INP	指定した VTR CSV フォーマットのデータを読み込み、収録リストとして展開します。
4	CSV EXP	収録リストを VTR CSV フォーマットでエクスポートします。
5	IN 設定	現在のカウント位置を VTR 取り込み時の IN 点として設定します。
6	IN 数値	収録開始する IN 点(時:分:秒.フレーム)を設定します。 数値右側のロックマークを選択することで IN 点を基準として OUT 点-デュレーションを入力します。
7	OUT 設定	現在のカウント位置を VTR 取り込み時の OUT 点として設定します。
8	OUT 数値	収録終了する OUT 点(時:分:秒.フレーム)を設定します。 数値右側のロックマークを選択することで OUT 点を基準として IN 点-デュレーションを入力します。
9	DUR	収録のデュレーション(時:分:秒.フレーム)を設定します。 IN 点ロック時にデュレーションを変更することで OUT 点数値が、OUT 点ロック時に IN 点数値が変化します。
10	追加	現在指定のファイル ID、入力指定、IN/OUT 点、デュレーションをリストに追加します。

7. イベント収録

VTR イベント収録動作を行います。

No.	項目	内容
1	1 イベント収録	リストの 1 イベント収録毎に処理の続行を聞いてきます。
2	イベント一括収録	一度に全リストをもとに VTR 収録します。

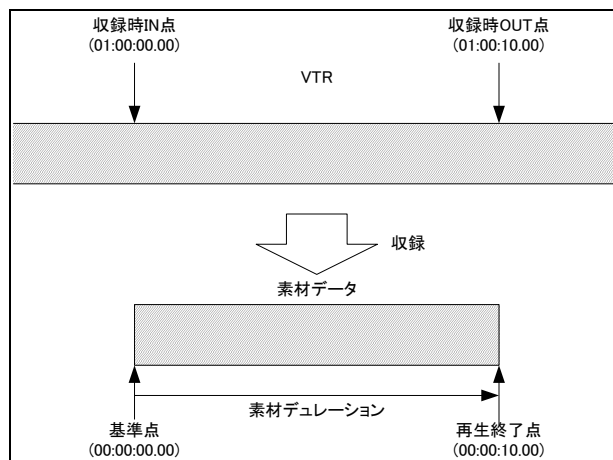
8. マニュアル収録

マニュアル収録開始/終了動作を行います。

No.	項目	内容
1	マニュアル収録開始	マニュアル動画収録開始します。 収録開始後、ボタン左側に現在の収録時間が表示されます。
2	マニュアル収録終了	マニュアル動画収録を終了します。

9. [閉じる]ボタン

このボタンをクリックすると動画収録ダイアログを閉じます。

●動画収録後のファイルデータの IN/OUT/デュレーションは次のとおりになります。

●収録 CSV インポート/エクスポート

CSV INP/EXP 時のファイルフォーマットは以下のとおりです。

・CSV フォーマット(カンマ区切り)

・内部構成

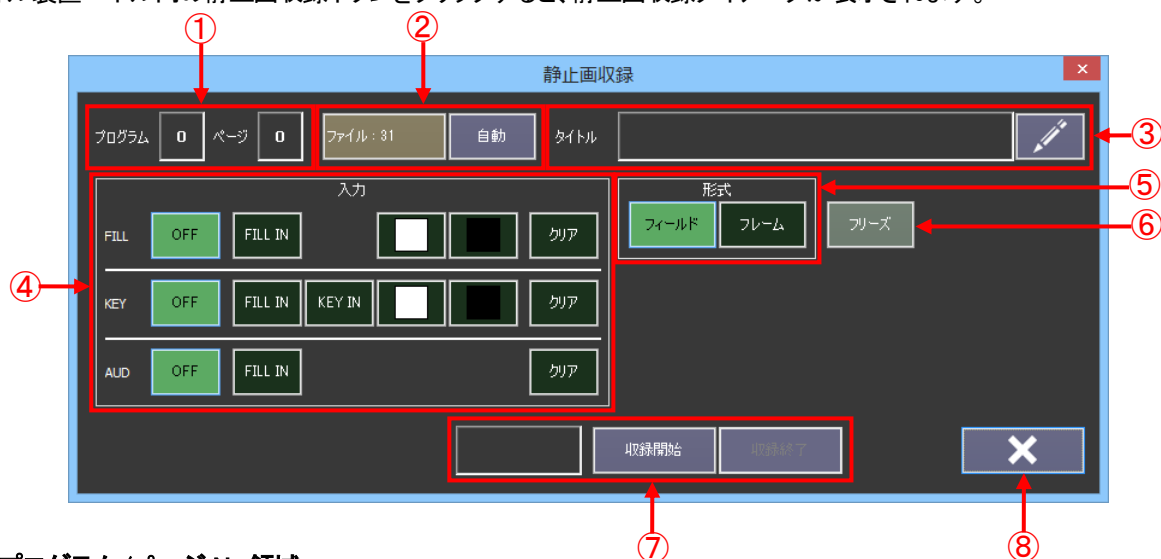
カラム No.	内容
1	ファイル ID
2	ファイルタイトル
3	FILL 構成(OFF/FILLIN/WHITE/BLACK)
4	KEY 構成(OFF/FILLIN/KEYIN/WHITE/BLACK)
5	AUDIO 構成(OFF/FILLIN/NON)
6	IN(時:分:秒.フレーム)
7	OUT(時:分:秒.フレーム)

※レコードにつき 1 イベント分のデータとし、イベント数分のデータが 1 ファイルとして納められています。

```
1,ニュース・ロゴ,FILLIN,OFF,ON,01:00:00:00,01:00:10:00
1,ニュース・ロゴ,OFF,KEY,OFF,01:00:40:00,01:00:50:00
2,タイ・ブーケット,FILLIN,OFF,NON,01:00:11:00,01:00:21:00
2,タイ・ブーケット,OFF,KEY,OFF,,
3,スポーツタイトル,FILLIN,FILL,NON,,
3,スポーツタイトル,OFF,KEY,OFF,01:00:40:00,01:00:50:00
```

収録インポート/エクスポート用 CSV データ例

7.3.18.　静止画収録ウィンドウ

ファイル装置パネル内の静止画収録ボタンをクリックすると、静止画収録ダイアログが表示されます。

1.　**プログラム/ページ No.領域**

　収録対象となるプログラム/ページ No.(現在の選択)を表示します。

2.　**ファイル No.指定**

　収録先となるファイル No.をこのボタン内に表示します。
　静止画収録ダイアログを表示した直後は現在の指定プログラム/ページ No 内の空きファイル No.を表示します。
　このボタンをクリックすると数値入力ダイアログが表示され、任意のファイル No.を入力します。

3.　**タイトル設定**

　収録するファイルのタイトルがタイトル領域に表示されます。
　また、タイトル領域右側のタイトル入力ボタンをクリックすると文字入力ダイアログが表示され、タイトルを入力します。

4.　**入力指定**

　静止画収録する際の入力構成(FILL/KEY/AUDIO)を指定します。

No.	項目	内容
1	OFF　FILL IN　クリア	FILL の収録構成を指定します。 OFF　…FILL を収録しません。 FILL IN　…FILL INPUT からの映像を収録します。 白　…白映像を収録します。 黒　…黒映像を収録します。 クリア　…既に登録済みの FILL を削除します。
2	OFF　FILL IN　KEY IN　クリア	KEY の収録構成を指定します。 OFF　…KEY を収録しません。 FILL IN　…FILL INPUT からの映像を収録します。 KEY IN　…KEY INPUT からの映像を収録します。 白　…白映像を収録します。 黒　…黒映像を収録します。 クリア　…既に登録済みの KEY を削除します。
3	OFF　FILL IN　クリア	AUDIO 収録構成を指定します。 OFF　…AUDIO を収録しません。 FILL IN　…FILL INPUT からの音声(エンベデッド)を収録します。 クリア　…既に登録済みの AUDIO を削除します。

5.　形式指定

収録形式の指定を行います。

No.	項目	内容
1	フィールド	映像をフィールドで取り込みます。
2	フレーム	映像をフレームで取り込みます。

6.　[フリーズ]ボタン

このボタンをクリックするとボタンが点灯状態となり、入力映像をフリーズ状態にします。
フリーズ状態からこのボタンをクリックするとボタンが消灯状態となり、フリーズ状態を解除します。

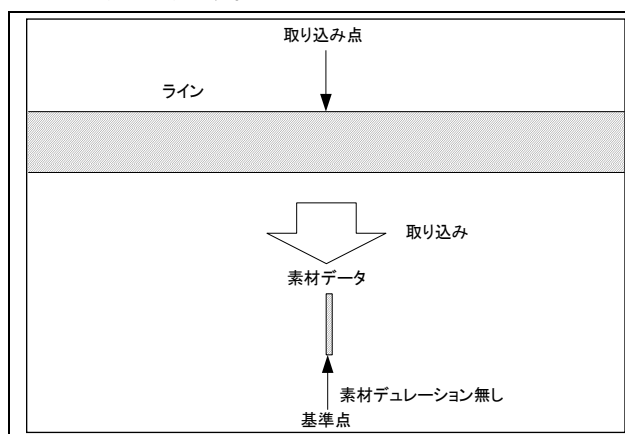
7.　収録

収録開始/終了動作を行います。

No.	項目	内容
1	収録開始	静止画の収録を開始します。 音声付きの場合、収録開始後ボタン左側に現在の収録時間が表示されます。
2	収録終了	静止画の収録を終了します。

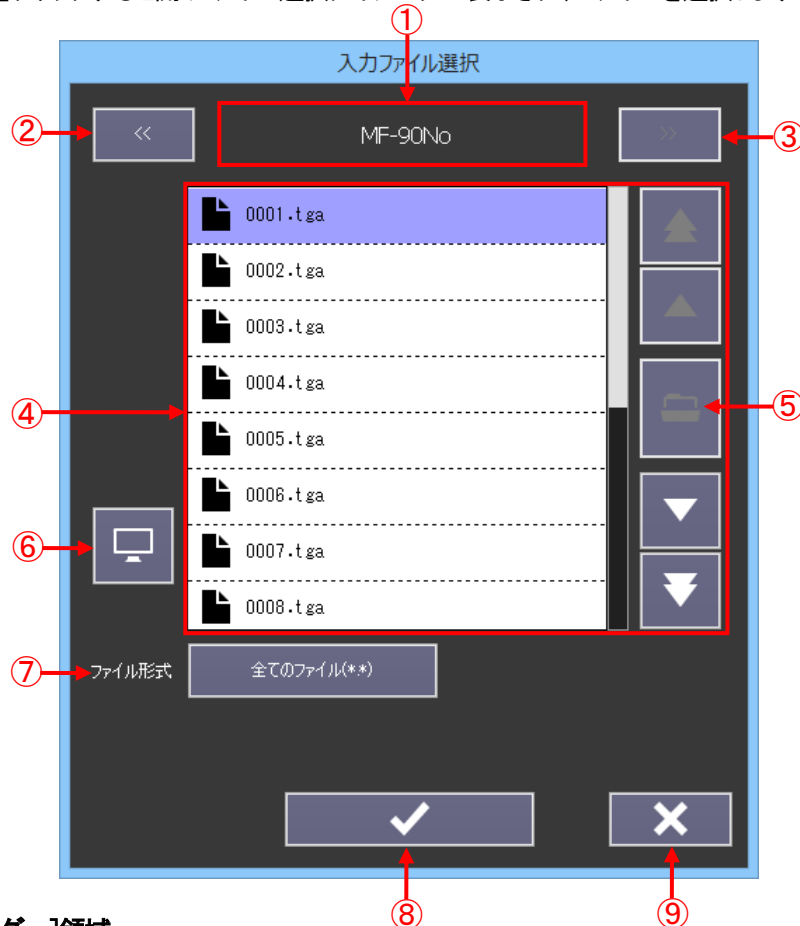
8.　[閉じる]ボタン

このボタンをクリックすると静止画収録ダイアログを閉じます。

●静止画収録後のファイルデータは次のとおりになります。

8. 画像変換/ビューアソフト共通

8.1. 各部の名称と働き

8.1.1. 開くファイル選択ダイアログ

各ファイル選択ボタンをクリックすると開くファイル選択ダイアログが表示され、ファイルを選択します。

1. **[現在指定フォルダー]領域**
   現在指定しているフォルダーの名称を表示します。

2. **[上階層移動]ボタン**
   このボタンをクリックすると現在指定しているフォルダーの上位階層へ移動します。
   ただし、最上位階層より上は移動できません。

3. **[下階層移動]ボタン**
   このボタンをクリックすると現在指定しているフォルダーの下位階層へ移動します。
   ただし、ダイアログ内で可能な範囲内でのみ移動できます。

4. **[ファイルリスト]領域**
   現在指定しているフォルダー下のフォルダー/ファイルの一覧を表示します。
   領域内の任意フォルダー/ファイル名称をクリックすると、そのフォルダー/ファイルを選択します。
   領域右側の各種上下ボタンをクリックするとリスト表示がスクロールされます。

5. **[フォルダー開く]ボタン**
   フォルダーリスト領域内で現在フォルダー選択している状態でこのボタンをクリックすると、そのフォルダーを開きます。

6. [デスクトップ]ボタン

PC のデスクトップ上のリストを表示します。

7. [ファイル形式選択]ボタン

現在ファイルリスト領域内に表示可能なファイルの形式がボタン内に表示されます。
このボタンをクリックするとファイル形式選択ダイアログが表示され、ファイルリスト領域内に表示可能な任意のファイル形式を選択します。

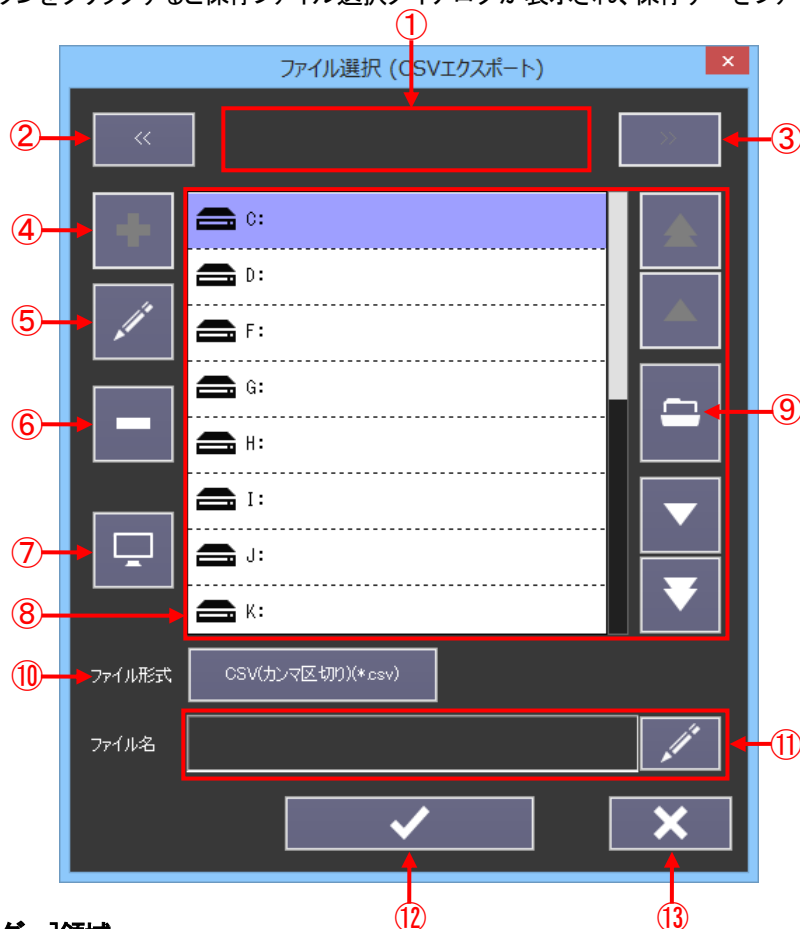
8. [開く]ボタン

このボタンをクリックすると開くファイルダイアログを閉じ、入力したファイルパスが適用されます。

9. [キャンセル]ボタン

このボタンをクリックすると開くファイルダイアログを閉じ、入力したファイルパスがキャンセルされます。

8.1.2.　保存ファイル選択ダイアログ

各保存ファイル選択ボタンをクリックすると保存ファイル選択ダイアログが表示され、保存すべきファイルを選択します。

1. **[現在指定フォルダー]領域**
   現在指定しているフォルダーの名称を表示します。

2. **[上階層移動]ボタン**
   このボタンをクリックすると現在指定しているフォルダーの上位階層へ移動します。
   ただし、最上位階層より上は移動できません。

3. **[下階層移動]ボタン**
   このボタンをクリックすると現在指定しているフォルダーの下位階層へ移動します。
   ただし、ダイアログ内で可能な範囲内でのみ移動できます。

4. **[フォルダー追加]ボタン**
   現在指定しているフォルダー下に新たなフォルダーを追加します。
   このボタンをクリックすると文字入力ダイアログが表示され、名称を入力することでフォルダーを新規作成します。

5. **[フォルダー名変更]ボタン**
   フォルダーリスト領域内で現在選択しているフォルダーの名称を変更します。
   このボタンをクリックすると文字入力ダイアログが表示され、フォルダーの名称を変更します。

6. **[フォルダー削除]ボタン**
   フォルダーリスト領域内で現在選択しているフォルダーを削除します。
   このボタンをクリックすると削除メッセージが表示され、フォルダーを削除します。

7. [デスクトップ]ボタン
PC のデスクトップ上のリストを表示します。

8. [ファイルリスト]領域
現在指定しているフォルダー下のフォルダー/ファイル一覧を表示します。
領域内の任意フォルダー/ファイル名称をクリックすると、そのフォルダー/ファイルを選択します。
領域右側の各種上下ボタンをクリックするとリスト表示がスクロールされます。

9. [フォルダー開く]ボタン
フォルダーリスト領域内で現在フォルダー選択している状態でこのボタンをクリックすると、そのフォルダーを開きます。

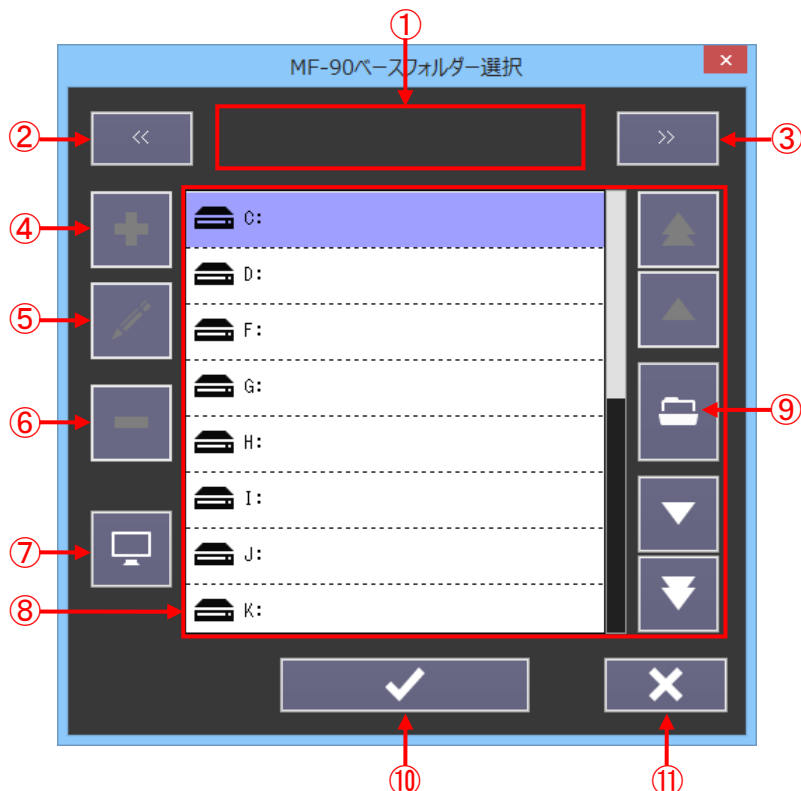
10. [ファイル形式選択]ボタン
現在ファイルリスト領域内に表示可能なファイルの形式がボタン内に表示されます。
このボタンをクリックするとファイル形式選択ダイアログが表示され、ファイルリスト領域内に表示可能な任意のファイル形式を選択します。

11. ファイル名設定
現在保存対象となっているファイルの名称が名称領域に表示されます。
また、名称領域右側の名称入力ボタンをクリックすると文字入力ダイアログが表示され、ファイルの名称を入力します。

12. [保存]ボタン
このボタンをクリックするとファイル保存ダイアログを閉じ、入力したファイルパスが適用されます。

13. [キャンセル]ボタン
このボタンをクリックするとファイル保存ダイアログを閉じ、入力したファイルパスがキャンセルされます。

8.1.3. フォルダー選択ウィンドウ

各フォルダー選択ボタンをクリックするとフォルダー選択ダイアログが表示され、フォルダーを選択します。

1. **[現在指定フォルダー]領域**
   現在指定しているフォルダーの名称を表示します。

2. **[上階層移動]ボタン**
   このボタンをクリックすると現在指定しているフォルダーの上位階層へ移動します。
   ただし、最上位階層より上は移動できません。

3. **[下階層移動]ボタン**
   このボタンをクリックすると現在指定しているフォルダーの下位階層へ移動します。
   ただし、ダイアログ内で可能な範囲内でのみ移動できます。

4. **[フォルダー追加]ボタン**
   現在指定しているフォルダー下に新たなフォルダーを追加します。
   このボタンをクリックすると文字入力ダイアログが表示され、名称を入力することでフォルダーを新規作成します。

5. **[フォルダー名変更]ボタン**
   フォルダーリスト領域内で現在選択しているフォルダーの名称を変更します。
   このボタンをクリックすると文字入力ダイアログが表示され、フォルダーの名称を変更します。

6. **[フォルダー削除]ボタン**
   フォルダーリスト領域内で現在選択しているフォルダーを削除します。
   このボタンをクリックすると削除メッセージが表示され、フォルダーを削除します。

7. **[デスクトップ]ボタン**
   PC のデスクトップ上のリストを表示します。

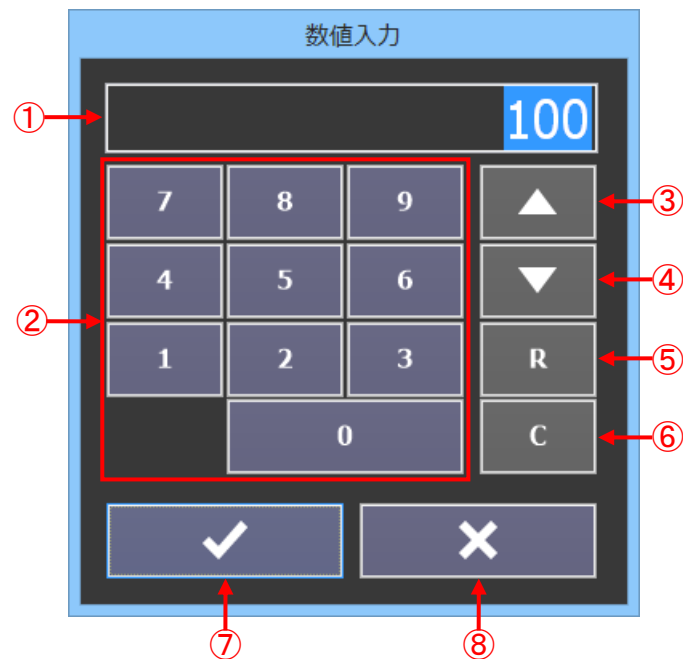
8. **[フォルダーリスト]領域**
   現在指定しているフォルダー下のフォルダー一覧を表示します。
   領域内の任意フォルダー名称をクリックするとそのフォルダーを選択します。
   領域右側の各種上下ボタンをクリックするとリスト表示がスクロールします。

9. **[フォルダー開く]ボタン**
   フォルダーリスト領域内で現在フォルダー選択している状態でこのボタンをクリックすると、そのフォルダーを開きます。

10. **[選択]ボタン**
    このボタンをクリックするとフォルダー選択ダイアログが閉じ、選択したフォルダーが適用されます。

11. **[キャンセル]ボタン**
    このボタンをクリックするとフォルダー選択ダイアログが閉じ、選択したフォルダーがキャンセルされます。

8.1.4. 数値入力ダイアログ(通常)

各通常の数値入力ボタンをクリックすると数値入力ダイアログが表示され、通常数値を入力します。

1. **[数値入力]領域**
   現在入力している数値を表示します。数値の任意箇所をクリックすることで一部分を選択します。

2. **[数値]ボタン**
   このボタンをクリックすると対象となる数値が入力されます。

3. **[カウントアップ]ボタン**
   このボタンをクリックすると現在入力している数値を+1 します。

4. **[カウントダウン]ボタン**
   このボタンをクリックすると現在入力している数値を−1 します。

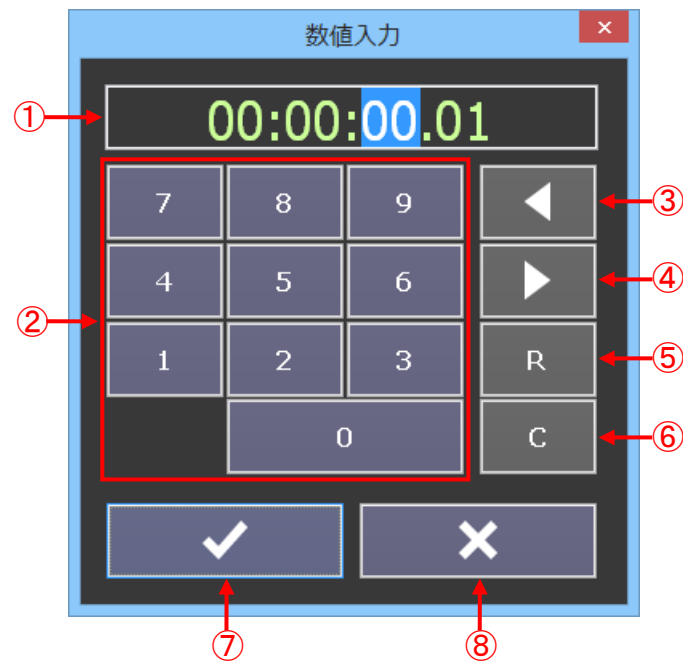
5. **[リセット]ボタン**
   このボタンをクリックすると現在入力している数値を初期値にリセットします。

6. **[クリア]ボタン**
   このボタンをクリックすると数値が 0 クリアします。

7. **[設定]ボタン**
   このボタンをクリックすると数値入力ダイアログが閉じ、入力した数値が適用されます。

8. **[キャンセル]ボタン**
   このボタンをクリックすると数値入力ダイアログが閉じ、入力した数値がキャンセルされます。

8.1.5.　数値入力ダイアログ(時分秒フレーム)

各時分秒フレームの数値入力ボタンをクリックすると数値入力ダイアログが表示され、時間数値を入力します。

1. **[数値入力]領域**
   現在入力している数値を表示します。数値の任意箇所をクリックすることで一部分を選択します。

2. **[数値]ボタン**
   このボタンをクリックすると対象となる数値が入力されます。

3. **[数値枠左移動]ボタン**
   このボタンをクリックすると現在入力している数値の枠を左に移動します。

4. **[数値枠右移動]ボタン**
   このボタンをクリックすると現在入力している数値の枠を右に移動します。

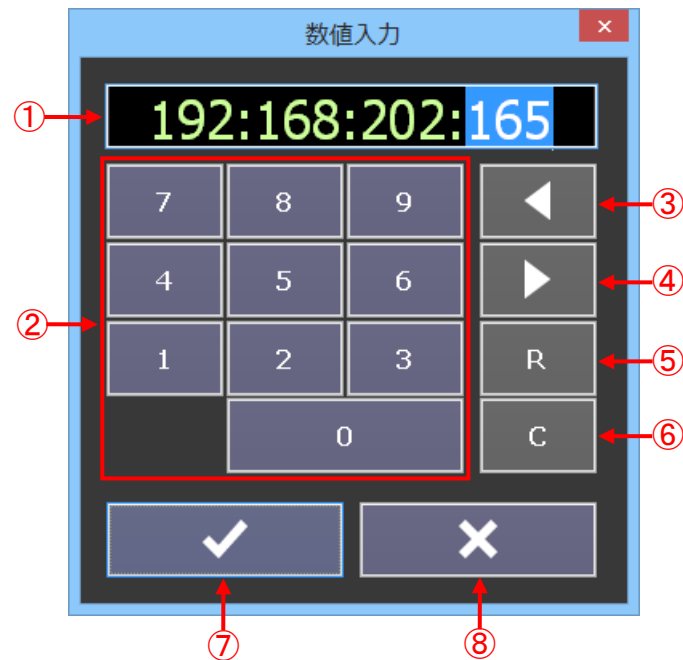
5. **[リセット]ボタン**
   このボタンをクリックすると現在入力している数値を初期値にリセットします。

6. **[クリア]ボタン**
   このボタンをクリックすると数値が 0 クリアします。

7. **[設定]ボタン**
   このボタンをクリックすると数値入力ダイアログが閉じ、入力した数値が適用されます。

8. **[キャンセル]ボタン**
   このボタンをクリックすると数値入力ダイアログが閉じ、入力した数値がキャンセルされます。

8.1.6. 数値入力ダイアログ(IP アドレス)

各 IP アドレスの数値入力ボタンをクリックすると数値入力ダイアログ (IP アドレス)が表示され、IP アドレス数値を入力します。

1. **[数値入力]領域**
   現在入力している数値を表示します。数値の任意箇所をクリックすることで一部分を選択します。

2. **[数値]ボタン**
   このボタンをクリックすると対象となる数値が入力されます。

3. **[数値枠左移動]ボタン**
   このボタンをクリックすると現在入力している数値の枠を左に移動します。

4. **[数値枠右移動]ボタン**
   このボタンをクリックすると現在入力している数値の枠を右に移動します。

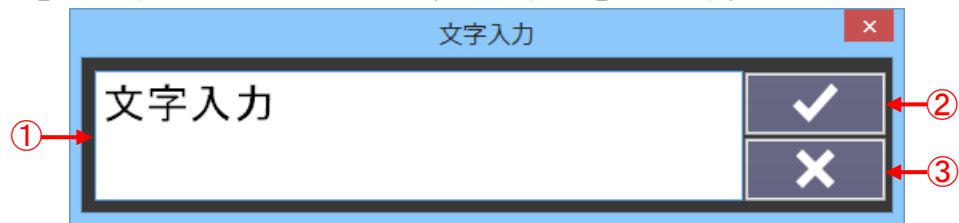
5. **[リセット]ボタン**
   このボタンをクリックすると現在入力している数値を初期値にリセットします。

6. **[クリア]ボタン**
   このボタンをクリックすると数値が 0 クリアします。

7. **[設定]ボタン**
   このボタンをクリックすると数値入力ダイアログが閉じ、入力した数値が適用されます。

8. **[キャンセル]ボタン**
   このボタンをクリックすると数値入力ダイアログが閉じ、入力した数値がキャンセルされます。

8.1.7. 文字入力ダイアログ

各文字入力ボタンをクリックすると文字入力ダイアログが表示され、文字を入力します。

1. **[文字入力]領域**
   現在入力している文字を表示します。文字の任意箇所をクリックすることで一部分を選択します。

2. **[設定]ボタン**
   このボタンをクリックすると文字入力ダイアログが閉じ、入力した文字が適用されます。

3. **[キャンセル]ボタン**
   このボタンをクリックすると文字入力ダイアログが閉じ、入力した文字がキャンセルされます。

9. トラブルシューティング

トラブルが発生した場合の対処方法です。

現 象 アプリケーションが起動しない。

原 因　　アプリケーションのインストールは適切にされていますか？
処 置　　アプリケーションのアンインストールを行い、再度 CD-ROM からインストールを行ってください。
　　　　 アプリケーションのインストールにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

原 因　　プロテクト KEY はパソコン本体の USB に接続されていますか？
処 置　　アプリケーション付属のプロテクト KEY をパソコン本体の USB ポートに接続してください。
　　　　 プロテクト KEY が正常に認識されると、プロテクト KEY の先端が赤く光ります。プロテクト KEY が赤く光らない場合はプロテクト KEY のドライバーを CD-ROM からインストールしてください。

現 象 各種ファイル装置に繋がらない。

原 因　　LAN ケーブルは正しく接続されていますか？
処 置　　LAN ケーブルの正しく接続してください。

原 因　　本体の電源が切れていませんか？
処 置　　本体の電源を入れ、再度接続をおこなってください。

原 因　　同一ネットワーク上で IP アドレスが重複して設定されていませんか？
処 置　　ネットワーク管理者に問い合わせ、IP アドレスを適切な値へ変更してください。

原 因　　MF-90、MF-70、CF-90 本体のパネルがメニューモードになっていませんか？
処 置　　メニューモードを解除してください。

現 象 VTR 収録に失敗する。

原 因　　MF-90 本体機器に VTR が正しく接続されていますか？
処 置　　MF-90 の取扱説明書を参考にし VTR の接続を行ってください。

現 象 ファイル装置上でファイル移動/削除をするとエラーになる。

原 因　　移動/削除しようとするファイルが現在ファイル装置上で ON AIR 対象になっていませんか？
処 置　　ファイル装置上の移動/削除対象ファイルを ON AIR から外してください。

お問い合わせは、当社カスタマーサポートまでご連絡ください。

ご使用者各位

ビデオトロン株式会社

カスタマーサポート

緊 急 時 の 連 絡 先 に つ い て

日頃は、当社の製品をご使用賜わりまして誠にありがとうございます。ご使用中の製品が故障する等の緊急時には、下記のところへご連絡いただければ適切な処置を取りますので宜しくお願い申し上げます。

記

◎営業日の連絡先

ビデオトロン株式会社　　カスタマーサポート

〒193-0835　東京都八王子市千人町２－１７－１６

TEL　　　０４２－６６６－６３２９

FAX　　　０４２－６６６－６３３０

受付時間　　８：３０～１７：００

e-mail:cs@videotron.co.jp

◎土曜・日曜・祝祭日の連絡先

留守番電話　　042-666-6311

緊急時　　090-3230-3507

受付時間　　9:00～17:00

※携帯電話の為、通話に障害を起こす場合がありますので、あらかじめご了承願います。